

トラックを起因物とする墜落・転落の死亡災害発生事例（1999-2020年）

発生年	発生月	時間	死傷災害発生事例	小業種コード	労働者規模
1999	1	9 ～ 10	トラックの積み荷である米袋の荷卸を終えたのでトラックを50～60m移動し、運転席から降りようとしたときに、転落して、アスファルト地面に頭部を強打した。	40301	30 ～ 49
1999	2	10 ～ 11	貯木場で、フォークリフトで桧材を10トントラックに積み込む作業中、トラック荷台の木材上で「とび口」を使って木材を揃えていたときに、バランスを崩して約3m下のアスファルト路面に墜落した。	40301	1～ 9
1999	2	16 ～ 17	2tダンプトラックで土砂崩壊災害復旧現場の崩壊土砂を約70メートル先の盛土現場までバックで走行中、運転操作を誤り村道からダンプトラックと共に転落した。	30106	1～ 9
1999	3	11 ～ 12	荷物の集配に行って、運転席から降りたときに、トラックが後ろに動き出したため、トラックの後方にまわり手で止めようとしたが支えきれずに約1.9メートル下に転落し、落ちてきたトラックの下敷きになった。	40301	50 ～ 99
1999	3	10 ～ 11	道路改築工事に使用した吹き付けプラント設備を解体し、トラックに積んで固定するために荷の上に乗リレバブロックを掛けているときに約3m下の地面に墜落した。	40301	1～ 9
1999	4	15 ～ 16	林道開設工事現場で、土砂を11tダンプに積んで幅5～6mの道路をバックで運転していき、土砂を下ろしてそのまま前進したときに、車体全体が谷側に傾き、コンクリート擁壁を越えて約8m下の谷に転落した。	30106	1～ 9
1999	4	13 ～	床上操作式走行クレーンで貨物自動車の荷台の荷降しの作業中に、吊り荷に当たったためか、もしくはバランスを崩してトラック荷台より墜落し頭を強打	11301	30 ～

		14	した。		49
1999	5	8 ～ 9	造成工事において、盛土用土砂を10tダンプで運搬してきて、本来ダンプアップする場所以外の法面までバックしすぎて、左後方からそのまま2～3回転しながらダンプと共に転落した。	30199	～ 99
1999	6	16 ～ 17	遊園地内で取った草をトラックで回収するため運転者のほか2名がトラックの荷台に乗り目的地に向かったが、Y字路で道を間違えたため一度後進したのちハンドルを左に切って前進したときに、荷台に乗っていた者が墜落し頭を打った。	140302	～ 29
1999	6	18 ～ 19	4tトラックに建築資材を積み込んでいるときに、長尺物の材の積みかえを荷台上で行っていて荷台から転落した。	40301	30 ～ 49
1999	4	18 ～ 19	資材置場で荷を4tトラックに積み込み、荷に上ってワイヤーロープで固縛していたときに、約3.6m下の地面に墜落した。	50101	10 ～ 29
1999	7	4 ～ 5	原石山から材を46トン重ダンプにて運搬した帰り道、路肩ガードレールを突き破り約20メートル下に転落した。	30101	10 ～ 29
1999	8	11 ～ 12	丸太5本を4トントラックで運び配達先で荷降ろしし、最後の5本目(長さ10m、元口28cm～末口18cm、重さ約250kg)を降ろしているとき丸太ごと荷台から転落し、丸太で頭部を強打した。	10409	～ 29
1999	8	17 ～ 18	3tの平ボディートラックの荷台で同僚と前側に高さ約2.5mに山積された発泡スチロールの板(畳の芯材)を並び替えていたときに、荷台の高さ約70cmの発泡スチロールの板の山の上から約1.7m下のアスファルトの地面に転落した。	11709	10 ～ 29
1999	7	9 ～ 10	河川敷の舗装道路上で積荷の鉄管(長さ6m、重量約300kg)のバランスが悪いため、二人で手直しをしているときに、2段目の鉄管が歯止めを乗り越えてきたので止めようとして10トントラックの荷台上から鉄管とともに転落した。	40301	50 ～ 99

1999	10	8	工事現場において、ドラグショベルでトレーラー荷台上から4mの角材4本を降ろす作業中に、吊り上げた角材が触れたためバランスを崩して荷台から	30106	10
		9	1. 8m下の側溝に転落した。		29
1999	9	10	木造平屋の解体工事現場において、油圧ショベルで解体した家屋の柱を挟んで4トントラックに積み込む作業中、トラックの荷台上で積み込まれた廃材等を整理していた者が地面に墜落した。	30209	1～ 9
1999	11	17	倉庫敷地内でトラック(最大積載量1750kg)荷台に高圧線用電線が巻かれたドラム(重量約134kg)3本を積込む作業で、3本目のドラムを先に積込んだドラム2本の上にフォークリフトの爪から降ろしていたところ、ドラムの一部が	30301	100
		18	フォークリフトの爪から落ちたため、荷台上(高さ2m7cm)から墜落した。		299
1999	11	10	貨物自動車で岩石を砕石プラントへ運び砕石プラントのホッパーへ投入するため、貨物自動車を後進させていたときに、搬入口横のガードレールを突き	20201	1～
		11	破り25メートル下に転落した。		9
1999	10	13	下水道工事ででたアスファルト殻を再生処理工場へ運ぶため4tトラックで運搬中に幅約6mの道路から約5. 5m下の川床にトラックとともに転落した。	30106	30
		14			49
1999	11	14	ダンプトラックに積み込まれた表土を運搬するため、トラックの荷台の上でシート掛けを行っていて荷台から約2m下の地面に墜落した。	40302	10
		15			29
1999	11	17	土砂採取現場で、土砂を採取中に動きだしたダンプトラックを止めようとしてダンプトラックに乗ったが梅畑に転落した。	30110	1～
		18			9
1999	11	10	資材置場で、2トンダンプの荷台に上り単管等の荷造りを行なって下車する際に転落した。	30199	10
		11			29
1999	12	15	製材所敷地内において、材木をプレカット工場へ運搬するためクレーン付トラック(積載重量4t)に材木を積み込み、高さ1. 13メートルの荷台から降りよ	30202	30
					～

		16	うとしたときにバランスを崩しコンクリート地面に墜落した。		49
1999	12	9 ～ 10	建設現場で使用する機材をトラックに積み込む作業で荷台(地面からの高さ約1m)に載って、機材の数量点検を終了し荷台から降りるときに、転落した。	30109	1～ 9
1999	3	8 ～ 9	配達先で納品伝票を渡し、トラック荷台に上がって荷卸の準備を始めたが配達先の者が伝票に受領印を押してトラックのところに来たときに運転手の姿が見えないので周囲を捜したところ、トラック横の道路に仰向けに倒れていた。	40301	10 ～ 29
1999	11	7 ～ 8	4tダンプでおがくずの回収作業を行っていた者がダンプから約10m離れた地点で倒れているのを発見された。	11709	1～ 9
1999	12	16 ～ 17	玉掛作業員としてトラックの荷台上で荷下ろし作業中、トラッククレーン(つり上げ荷重4.9t)で荷物を吊上げたときに荷台上でバランスを崩した。	40301	10 ～ 29
2000	8	15 ～ 16	桜並木の保全のために周辺の柳の木を伐倒し、トラッククレーン車に手作業で乗せるため荷台上で積み込み、整理をしていたときに、高さ1・46mの荷台上から転落した。	30199	50 ～ 99
2000	10	8 ～ 9	大型平ボデートラックからコンテナパック入飼料をフォークローダーで荷降しする作業で、荷台上でパックの紐をかける作業を行っていたときに荷台から転落した。	40302	30 ～ 49
2000	11	5 ～ 6	セメントローリー車(10t)へ粉体セメントを積み込み、上部ハッチを閉めるときに手が滑ったはずみで2.9m下の地面に墜落した。	40301	30 ～ 49
2000	12	11 ～ 12	10tトラック(平ボディ)へ荷の積み込みを終え、荷台にシートを掛けているときにトラックの荷台(またはキャビンの屋根)から転落した。	40301	10 ～ 29
		15	木造家屋解体工事において、積み込まれた廃材をトラックの荷台で整理して		1～

2000	2	～	いて大きい廃材を落ちないように荷台に積み込むため荷台から運転席の上部	30202	9
	16		に移動したときにトラックの乗車部分より足を滑らせて地面に転落した。		
2000	6	～	運搬してきた電柱11本を移動式クレーン(20トン)で電柱置場に降ろすため、	40301	30
	8		大型トレーラー荷台の架台に上り玉掛作業を行っていたときに、高さ約		～
			2. 53mの架台上から墜落した。		49
2000	12	～	駐車場の植え込みの縁石を並べ終わり、隙間を埋めるためのコンクリート(約	30199	10
	17		20kg)を1tトラックの荷台から荷降ろしする作業中に転落した。		～
					29
2000	4	～	残土捨場において、他の現場から採取した土を車両搬入路から4tトラックで	20209	1～
	12		深さ10mの窪地に投棄しているときに、車両がバランスを崩し転落した。		9
2000	10	～	木造住宅の新築工事に使用するブラケット2つを4tユニック車の荷台から手渡	30202	10
	12		す作業中に、高さ1. 35mのあおりを超えてアスファルト舗装の道路に墜落し		～
			た。		29
2000	11	～	木材のプレカット工場において、荷物の積み込みのため待機中に、前の車両	80209	1～
	19		の積み込み作業を手伝っていてトラックの荷台より墜落し、地面にあった木		9
			材で頭部を打った。		
2000	2	～	2tトラックから建築廃材(コンクリート塊)を降ろすため、トラックの荷台(高	30199	10
	14		さ1. 3m)で荷台を覆っていたシートを外す作業をしていたときに、転落して		～
			右肋骨を骨折し、感染症で死亡した。		29
2000	3	～	建材店で4tトラックにセメントを積み込み、ロープで積荷を固定する作業をし	30209	30
	18		ていたときに荷台から道路に墜落し頭部を打った。		～
					49
2000	4	～	木造2階建住宅の解体作業で、3.7tのダンプの荷台上で廃材の整理をしていて	30209	10
	12		荷の上から転落し(約2. 7m)、コンクリートの土間に激突した。		～
					29
		9	4tトラックの荷台でアルミサッシ窓枠の水平部材のパレットの荷卸作業を		10

2000	6	～ 10	行っていて、2台目のパレット(重量約650kg)がフォークリフトのとどかない位置にあったので、角材を用いて2人でこじりながら移動させていたところ、角材がパレットからはずれたため後ろ向きに約1.3メートル転落した。	30209	～ 29
2000	10	～ 14	配達先で車を止めて車から離れたところ、サイドブレーキのききがあまく車が動き始めたためあわてて車両に飛び乗ったが、車のドアにふられて転落した。	80209	10 ～ 29
2000	10	11 ～ 12	工事現場の坂道(勾配約4度)でドラグショベルを用いて養生用の鉄板(重量約800kg)を4tダンプトラックに積込む作業中に、ダンプが動き出したので停車させようと荷台から運転席に乗り込もうとしたが間に合わず、車とともに道路脇の崖下に転落した。	30199	50 ～ 99
2000	10	～ 17	トラックの荷台からU字溝を降ろす準備をされていて、荷台(高さ・約1m)から足を滑らせて墜落した。	80209	50 ～ 99
2000	1	11 ～ 12	土木工事用資材を運搬していた2tダンプトラックが勾配8度から12度の上り坂で停止したところスリップして坂を約20m後退し、進行方向右側の土手(高さ約2.2m)から転落、助手席に乗っていた者が車から投げ出され下敷きになった。	30109	50 ～ 99
2000	10	23 ～ 24	荷積みの終了した大型車両(10t)をホームから離して構内の広い場所で、後部扉を閉めようとしたときに、積み込んだ荷物が落ちそうになっていたのでステップ(高さ67cm)または荷台(高さ131cm)に乗り荷物を中に押し込んでいたところ、バランスを崩して地面に落下し頭部を打ちつけた。	40301	50 ～ 99
2000	7	16 ～ 17	4t車にセットされたバケットに被せていたシートを取り外す作業中、シートが引っ掛かり取れなかったため、強く引張り転落した。	11009	30 ～ 49
2000	4	8 ～ 9	トラックの荷台上で積み込み作業中にトラックの後方に転落した。	10101	1～ 9

2000	10	14 ～ 15	4tトラックの荷台上で、防水シートを掛ける作業を行っていて2.7m下の地面に墜落した。	11209	10 ～ 29
2000	1	16 ～ 17	トラック(4.25t積)荷台の配送用木材の上から墜落した。	80109	10 ～ 29
2000	5	20 ～ 21	4tのほろ付トラックに菓子入りダンボール箱を積込む作業を行っていたときに、トラックの運転手が6m40cm発進させてブレーキをかけたため、その勢いで仰向け状態でトラック荷台上から1m下の地上に墜落した。	40301	10 ～ 29
2000	9	6 ～ 7	15tトラックで荷受け先倉庫に入庫後、積荷の荷降ろし作業のため荷台上のパレットに乗り作業をしているときに、バランスをくずし2m下の地面へ転落した。	40301	10 ～ 29
2000	1	18 ～ 19	車検のため入庫していたトレーラーの運転席に車検証を取りに行き、運転席より降りているときに転落した。	11701	10 ～ 29
2000	9	11 ～ 12	林道開設工事現場に生コンを配送するためミキサー車で道幅3.5mの林道を走行中、現場まで350mの地点で路肩に寄りすぎ路肩が崩れて約22m(勾配45度)下の谷底へ車もろとも転落した。	40301	10 ～ 29
2000	12	16 ～ 17	2tダンプトラックで家屋を解体した廃材を廃棄物中間処理施設に運搬中、解体現場から約300m離れた県道にうつ伏せの状態で見えているのを別のトラックで運搬中の同僚が発見した。	30202	10 ～ 29
2000	2	17 ～ 18	刈り取ったさとうきびを敷地内のヤードまで搬送し、トラッククレーンでモッコ(さとうきびを袋詰めにしたもの)を降ろすためトラック荷台に乗ったときに、約2.3m下の地面へ墜落した。	40301	10 ～ 29
2000	4	17 ～ 18	かぶと虫養殖に使用するクヌギの木の運搬を終え11tダンプの助手席に乗って自宅近くの交差点でダンプから降りたときに、運転手がサイドミラーを見ると地面に倒れていた。	60101	10 ～ 29

2001	2	19 ～ 20	2. 75tのトラック荷台において、積んだ荷をロープで固定する作業を行って いて高さ1. 73mのあおり上から地面に墜落した。	40301	1～ 9
2001	3	11 ～ 12	トラック(クレーン搭載型)で、廃車をトラックの荷台へ積込む作業中、ワイ ヤーの玉外しを行っているときにバランスを崩し、荷台側面のあおりから転 落した。	80109	10 ～ 29
2001	4	8 ～ 9	10tトラック(ウイングボディー)に積んだ空パレットの荷卸のため、荷台に積 み重ねた発泡スチロール板の上に乗り荷崩れを直していたときに、バランス を崩し2. 52m下のアスファルト地面に墜落した。	40301	10 ～ 29
2001	4	10 ～ 11	大型トレーラーの荷台上で積み荷(配電盤用鉄板)の荷降ろし作業中、荷台から 足を滑らして高さ1. 6m下の床面に梱包箱(250kg入り鉄板)とともに落下し た。	40301	10 ～ 29
2001	5	7 ～ 8	早朝から荷物を届けるため前日に4tトラックに荷を積み自宅に乗り帰ってい て、朝になってトラックのシートカバーに溜まった雨水を取り除くため荷台 に乗りシートを引っ張ったところ、勢いあまって荷台から転落した。	40301	10 ～ 29
2001	4	21 ～ 22	軽トラックで事業場内道路(未舗装、幅約5m、傾斜角約20度)を走行中に、運 転操作を誤って路肩から右前輪が脱輪したため運転席から降りようとしてい たところ、軽トラックが傾き用水路(幅約3m、深さ約3m)に軽トラックととも に転落した。	70101	10 ～ 29
2001	6	9 ～ 10	タンクローリーの上で、タンク上部にあるハッチに小麦粉を吸入するホー スを取り付ける作業をされていて地上に転落した。	40301	100 ～ 299
2001	7	7 ～ 8	運搬する殺菌乳をタンクローリーに積み込む準備のためタンク(高さ3. 1m) 上からタンク前部に入り、フィルター部からマンホールに戻るときに墜落し た。	40301	50 ～ 99
2001	7	10 ～	木造住宅の解体工事で出た廃材等をトラックに積み込む作業をトラックのブ ロテクター(運転席のガード)の上で行っていて、杉の丸太(長さ5. 7m、直径	30209	1～ 9

		11	36cm)を載せたときに丸太もろとも転落した。		
2001	7	14 ～ 15	採石作業現場において、岩山に被った土砂を10tトラックで運搬し深さ約40mの窪みに落とす作業で、土砂を窪みに落とすときに路肩に寄せすぎたためトラックとともに約40m転落した。	20201	1～ 9
2001	7	23 ～ 24	光ケーブルの敷設のため軽トラックの荷台にクッションドラムを載せて行っていて、監視のため荷台に乗車していたところ、車線変更のためトラックが右に曲がったときに荷台から転落した。	30301	50 ～ 99
2001	3	11 ～ 12	歩道の舗装工事現場でアスファルト骨材を積んで待機していた10tダンプから4tダンプに積み込むため、4tダンプのあおり上で10tダンプの運転者に合図を送っていて高さ146cmの位置から転落し、頭部を強打した。	40301	1～ 9
2001	6	9 ～ 10	トラックから精密機械(質量約400kg)を降ろすため、荷台の奥から「手動式リフト」で「テールゲートリフター」の搬器の上まで引き出したときに荷とともにコンクリートの地面に墜落し下敷きになった。	40301	30 ～ 49
2001	7	14 ～ 15	マンションの修繕工事において、駐車場補修のため2tダンプで合材工場にアスファルト合材を取りに行き、合材を積んだのちシートを掛けるときにダンプの荷台(高さ1.07m)から墜落した。	30201	1～ 9
2001	7	9 ～ 10	町宮公園の桜の防除作業で、北側斜面の薬剤散布を行ったのち、南側斜面の薬剤散布を行うため軽トラックで移動中、軽トラック荷台に乗っていて荷台上の薬剤タンク(270L)とともに転落した。	140302	10 ～ 29
2001	8	18 ～ 19	自動車道のパーキングエリアにおいて、トラックボディの前側のリベットが取れて走行中に音がするので状況を確認するため、運転席側の梯子から屋根上に上がったところにバランスを崩し約2.6m転落した。	40301	1～ 9
2001	3	10 ～ 11	作業現場にコンクリートを運搬し、待ち時間を利用して車両の洗車を行うため車両ホッパー部のステップ(高さ約3m)に登って洗車を行っているときに足を滑らせ地面に落下した。	40302	1～ 9
2001	10	7 ～	積載量32tのダンプに原石を積んで走行中、蛇行した坂道で運行経路を外れ、約20～30mの崖下に転落した。	20201	30 ～

		8			49
2001	9	15 ～ 16	トレーラー荷台に積んでいたプラスチックを10tダンプ車に積み替える作業で、ダンプのシート納め台に乗り移ったときにバランスを崩して墜落し、隣接していたダンプの着脱式荷台上部で頭部を強打した。	11709	～ 49
2001	10	10 ～ 11	バラセメント運搬用タンクローリーのタンク上部で粉末セメントの積み込み作業中に、タンクローリーのタンク上部から地面に墜落した。	40302	1～ 9
2001	4	9 ～ 10	倉庫横の港湾荷役作業場所を走行していた小型貨物自動車(最大積載量1t)が、岸壁の車止めを乗り越え海に転落した。	11209	1～ 9
2001	3	9 ～ 10	家屋の解体現場においてダンプカーから工具をおろす作業中に、足を滑らして転落し、頭部を強打した。	30209	1～ 9
2001	10	13 ～ 14	産業廃棄物運搬車のエプロン上において荷台の中を点検中に、エプロンから運転席屋根に転落したのちコンクリート床上(3.38m)に転落した。	150102	1～ 9
2001	4	16 ～ 17	2人で板材を資材置場までトラックで運搬してきて、1人が倉庫に確認に行っている間にトラックの荷台に乗り、墜落して頭部を打った。	140309	30 ～ 49
2002	1	10 ～ 11	4 tトラックの荷台でコンクリート製のL字型側溝をドラグショベルで路上におろす作業中、側溝を吊った直後に地上にいた合図者がトラック運転者に前進させる合図を出してトラックが前進したため、バランスを崩して側溝とともに地上に墜落した。	30106	1～ 9
2002	1	15 ～ 16	倉庫から鋼材(コイル)をトラック荷台に積み込み、倉庫を出て荷物にシートを掛ける作業をしていたときに荷台から足を踏み外し、約1m下に背面から転落した後頭部を強打した。	40301	10 ～ 29
		13	国道の路側整備工事現場において、路側に止めていたトラックの荷台でコン		1～

2002	3	～	プレッサーのホースを片づけていて、誤って道路下約10mの海岸に転落した。	30106	9
2002	4	9 ～ 10	社宅新築工事で、既設木造2階建建物を解体して出た廃材を搬出するため、10tダンプトラックの荷台に乗り、クランプアタッチメントを取り付けたバックホーでの廃材積みの誘導及び荷台上の廃材の整頓作業を行っていたときに、荷台上から約3m下のアスファルト上へ墜落した。	30209	1～ 9
2002	4	15 ～ 16	道路工事現場でトラックの荷台からアスファルト合材を工事用の機械に投入して、荷台より落下し頭部を強打した。	30106	10 ～ 29
2002	4	10 ～ 11	運送業者が運搬してきた積み荷（ヨシズ）をトラック（10t、平ボディ）の荷台から降ろす作業中、積み荷の上（高さ約3m）から足を滑らせ地上に墜落した。	80109	1～ 9
2002	4	11 ～ 12	セメント工場へ4tトラックで原料の受け取りに行き、トラックを止めて運転席より降りようとしたときに運転席（高さ約1m）から転落した。	10901	1～ 9
2002	5	13 ～ 14	4tトラックで搬送した空ペットボトルを配送先側がフォークリフトにより荷降ろし作業を行うのをトラック荷台の上に昇って手伝っていて、バランスを崩して荷台から転落した。	40301	30 ～ 49
2002	6	14 ～ 15	オイルターミナルにおいて、タンクローリーにガソリン等の積み込み作業を行っていて転落し頸椎を損傷した。	40301	100 ～ 299
2002	6	8 ～ 9	砂利採取現場の土捨場において、残土を積んだダンプ（4t）を誘導者の指示のもと後進していたところ、後進しすぎて水の溜まっている残土捨場（深さ約12m：うち水深約5m）にダンプごと転落して水没した。	170209	1～ 9
2002	6	15 ～ 16	タンクローリーに積載したセメントをサイロに降ろすためハッチへ上ったときタンク内部圧力が抜けてハッチが跳ね上がり、その影響で地面に転落した。	40301	30 ～ 49

2002	6	9 ～ 10	防犯灯の交換作業中に転落した。	30301	1～ 9
2002	6	13 ～ 14	大型トラックにコンテナを積み込み雨から防ぐため荷台上に上りシート掛けをしていたときに、荷台上から地上へ転落した。	10109	10 ～ 29
2002	6	18 ～ 19	リサイクルセンターでコンクリートの荷降し後、ミキサー車の外れていた雨カバーを修理しようとして高さ約3.4mのステップから墜落した。	40302	1～ 9
2002	5	14 ～ 15	キャスター付きコンテナ（給食用食器等が入ったもので空の状態の質量は140kg）を小学校の敷地内にある調理場に運搬する作業を1人で行っていて、2tトラック（冷蔵冷凍車）後部にある昇降リフター上でコンテナの下敷きとなり仰向けで倒れているところを発見された。	40301	10 ～ 29
2002	8	11 ～ 12	林道において除草集積した雑草を2 t ダンプトラックに人力で積み込み作業中に、荷台上から約3m下の路肩に転落した。	30199	10 ～ 29
2002	10	15 ～ 16	林道と隣接している残土捨場で、11 t ダンプトラックを用いて林道工事現場の掘削土石を排出作業中に路肩が崩れたため、67m下の谷底へダンプもろとも転落し車外に投げ出された。	30106	10 ～ 29
2002	11	16 ～ 17	林道新設工事において、2 t 積みダンプに現場内の切土を積みバックで約80m離れた盛土場所まで運搬しているときに、林道（幅員約7m）の路肩から約18m下の谷へ転落した。	30106	1～ 9
2002	12	0 ～ 1	工事現場のエンジン発電機のオイルタンクにA重油を入れるため、タンクローリーをバックで下がっていたときに、路肩に寄りすぎて8.5m下に転落しタンクローリーから投げ出された。	80204	10 ～ 29
2002	12	8 ～	トラック（最大積載量15 t）の荷台上で、石膏ボードを固定している台付ワイヤーを外すために積荷上を移動中、2.5m下の地面へ墜落した。	40303	100 ～

		9			299
2002	12	11 ～ 12	25 t ダンプトラックに採石場で出たズリを積んでプラントに向かう途中、路肩より約60m下にダンプごと転落した。	20201	30 ～ 49
2002	7	16 ～ 17	2 t ダンプを使用した伐採木の撤去作業で、伐採木を積み込んだ荷台で伐採木を押さえていてダンプから墜落した。	150109	1～ 9
2002	10	13 ～ 14	仮設資材置場前の道路上で、2 t トラックの荷台に積んだ荷の上に乗って結束していたロープを外そうとしたときに、荷の上（高さ約2.3m）から道路上に転落した。	30199	30 ～ 49
2003	1	14 ～ 15	クレーンでフレコンバックから飼料を投入中に、トラックの荷台（高さ2.6m）から転落した。	40301	30 ～ 49
2003	1	10 ～ 11	造船工場において、15tトラックの荷台上で荷を固定していたレバーブロック（7つ）の取外し作業中、最後のレバーブロックが手で動かなかったために、単管パイプ（長さ0.7m）をレバーに差し込んでレバーブロックを緩めようとして操作したときに、荷（1.6t）がバランスを崩したため、高さ0.4mのあおりを乗り越え荷とともに1.4m下のコンクリート道路に墜落した。	40301	30 ～ 49
2003	1	10 ～ 11	フォークリフトで、機械装置の一部の荷（高さ約265cm×幅約85cm×奥行約80cm、質量約900kg）をトレーラー上のコンテナに積込中に、荷がバランスを崩して横転したので、コンテナ内で作業の指揮をしていた者が倒れた荷を避けようとしてバランスを崩し、地上に転落（高さ約70cm）した際にアスファルトの地面で頭部を強打した。	50101	30 ～ 49
2003	2	9 ～ 10	堤防散歩道整備工事において、ダンプ・トラック（最大積載荷重3t）から荷台に積んだ砂利を下ろすため、荷台に乗ってかぶせていたシートをはがした後、あおりに足をかけて降りようとしたときに、荷台から約1.3m下に墜落した。	30106	10 ～ 29

2003	3	11 ～ 12	おがくずを回収するため、フォークリフトで3.5tトラックの荷台最上部まで投入した。おがくず上部を平にしてシートをかけるため、荷台後部扉の固定はしごを使っておがくず上（高さ2.72m）に上り作業をされていて地上に墜落した。	80409	1～ 9
2003	3	11 ～ 12	河川改修工事において、田畑に農機を乗り入れるための傾斜路に打設する外壁用の生コンを搬入し、やや傾斜した堤防上の道路に止めたミキサー車の後方で打合せをしていたところ、ミキサー車が後退し始めたので運転席にもどろうとしたときに、畑に転落したミキサー車にはさまれた。	10901	30 ～ 49
2003	3	10 ～ 11	家屋解体で出た柱・梁等を搬出する作業で、ダンプ・トラックの荷台上でグラップル付建設機械でつかんだ梁（松材、質量270kg）を外してグラップルを引き抜いたときに、梁が回転しその反動で梁とともに墜落し、落下してきた梁で頭部を強打した。	30209	1～ 9
2003	5	3 ～ 4	石灰工場で、サイロからタンク車への石灰粉の積込み作業を終了し、タンク車上部から昇降用はしごで地上に降りようとしたときに、はしごから地上に墜落した。	40301	50 ～ 99
2003	6	10 ～ 11	ダンボールをトラックに積み込む作業で、同僚がトラックを動かしたときに荷台にいた者がバランスを崩して転落しかけ、とっさに目の前の建物柱につかまったがそのまま柱ぞいに落下し、柱を留めてあるボルトに差し込まれていた鉄製パイプが下腿部に刺さった。	150103	1～ 9
2003	7	13 ～ 14	4t積みトラック積んである荷（印刷用原版、質量約218kg）を、荷台上で人力により移動していたときに、荷に掛けていた手が滑った反動で約1m下の舗装面に後ろ向きで転落した。	80401	10 ～ 29
2003	8	15 ～ 16	事業場内のリサイクルプラントにおいて、コンクリートと分離した鉄筋を積載した10tダンプ・トラックを移動させようとしたところ、バッテリーが上がっていてエンジンがかからず、そのままエンジンがかかっていない状態で約10m走行し、約13m下の調整池に転落した。	20201	10 ～ 29
		15	大型トレーラー（最大積載量20t）にフォークリフトで木材を積み込む作業で、トレーラ荷台に乗って専用の手工具で重なっている木材を並べ直すため		

2003	8	～	16	手前に引っ張ろうとしたときに、手工具が握っていた手から外れ、その反動でバランスを崩してトレーラー荷台の木材上（高さ約2m）からアスファルト床に転落した。	40301	1～ 9
2003	8	～	14	13 購入した建設廃材（鉄屑）を建設工事現場へトラックで取りに行き、キャビン上で重機オペレーターに荷台への積み込み位置等を指示していたときに地上に転落した。	11209	30 ～ 49
2003	9	～	8	7 11t貨物トラックで自動車部品を納入先に搬送し、工場内の通路上で部品の荷崩れを荷台（高さ約1m）上で直しているときに、足を踏み外してコンクリート舗装面に転落し頭部を激突した。	11502	100 ～ 299
2003	9	～	12	11 敷地内において、翌日配送する荷の積込み作業の段取りのため、2tクレーン車の荷台上で土台として使用していた角材を整理していて荷台から転落した。	40301	10 ～ 29
2003	9	～	11	10 木材搬出用の林道（幅員約4m）の補修作業で、2tダンプ・トラックで土砂を運搬中に路肩より12.1m下の窪地に転落しダンプ・トラックの下敷きになった。	60201	1～ 9
2003	10	～	16	15 13tトラックの屋根の雨漏り補修のため、屋根上（高さ3.6m）で作業をしていて墜落した。	11701	10 ～ 29
2003	10	～	16	15 事業場内において、10tダンプ・トラックに重機で建設廃材の木材片を積み込んだのち、荷台上（高さ3.35m）で荷台から飛び出している木材片の整理作業中に、荷台の縁から足を滑らせて地面に頭から墜落した。	150102	1～ 9
2003	11	～	15	14 2tトラックから木製の電柱10本をドラグ・ショベルで荷降ろしする作業で、7本目を降ろそうとしたときに、トラック荷台から丸太1本とともに墜落し、下敷きになった。	30199	1～ 9
2003	11	～	16	ダンブ・トラック（積載荷重4.1t）でリサイクルセンターに空缶等の金属塊の回収に行き、その職員が天井クレーン（2t）で金属塊を積み込む作業中に、荷台上にいて金属塊が当たりそうになったので避けるためトラックから	150103	10 ～

		17	飛び降りたときに、後方に滑るような状態で落ちて床面に頭を打ちつけた。		29
2003	11	18 ～ 19	国道の路側帯に停車中のトラックの運転席に座ったまま、意識を失っているところを発見された。車両乗降時に足を滑らせ頭をうった痕跡があった。	40301	100 ～ 299
2003	12	10 ～ 11	大型建設機械を低床トレーラー（最大積載量30t）に積んで国道を走行中、トンネル天井にクラッシャー上部を擦ったため、道路脇の車両待避所にトレーラーを止めてクラッシャー上部へ上がって点検していたときに、地面へ墜落し頭部を激突した。	40301	1～ 9
2003	12	16 ～ 17	工場構内のチップ置き場で、ダンプカーの荷台から転落したダンプ運転手が頭部から血を流して倒れていた。	40301	30 ～ 49
2003	12	16 ～ 17	フォークリフトのパレット上の積荷（PP紐、一束の質量20kg、パレット上の個数30束）を13tトラックの荷台に積み込んでいるときに、荷台より地上（1.42m）に転落した。	40301	10 ～ 29
2003	12	9 ～ 10	パワーゲート付き4tトラックで荷物を搬入し、パワーゲート上（高さ地上より約106cm）にパレットを置いて荷物を積んでいたときに、脚を踏み外して仰向けに転落した。	40301	10 ～ 29
2004	3	10 ～ 11	トラックにおがくずを積み込み、荷台にシートを掛けていたところ、トラックの荷台（高さ約3m）から墜落した。	10401	10 ～ 29
2004	4	8 ～ 9	一般ごみ収集用トラック（2t）で走行中、荷台に乗っていた作業者が転落した。	150103	10 ～ 29
2004	10	8 ～ 9	大型トレーラーから荷降ろしするため荷台に上り、シートを外す作業中、バランスを崩し墜落した。	40301	10 ～ 29
			資源ごみ回収中、次のゴミステーションまで収集車の後部荷室内に被災者を		

2004	2	14 ～ 15	乗せドアを開けたまま時速約15kmで走行していた。30m程走行したところで右カーブに差し掛かり曲がった際にパリンという硝子の割れる音がしたため、運転者が車を停車し荷室を見るとビンの入ったカゴと一緒に転落している被災者を発見した。	150109	～ 299
2004	6	11 ～ 12	歩道舗装工事において、ダンプトラック（4t）の荷台からアスファルト合材を降ろす作業後、ダンプトラックを少し前進させたところ、バランスを崩した被災者がトラックから後向きで地上に墜落した。	30106	1～ 9
2004	9	11 ～ 12	公園造成工事現場の木製杭の回収作業中、トラックの荷台からバランスを崩し転落した。	30109	1～ 9
2004	12	15 ～ 16	車両積載形トラッククレーンの荷台に積載された玉切された杉の上から、バランスを崩し、約2m下の地面に墜落した。	60201	10 ～ 29
2004	12	14 ～ 15	倉庫から搬出されたコーヒー豆の袋（重さ60kg）合計267袋を、20 tシャーシの荷台へ順次積み込む作業をしていたときに、シャーシ荷台のあおりを乗り越えて、約2m下の地上へ墜落した。	40301	30 ～ 49
2004	3	0 ～ 1	木造2階建てアパートの解体工事現場において、解体した廃材を10 t ダンプトラックの荷台に積み込み、積み込んだ廃材が運搬中飛散しないようネット掛け作業を行っていたところ荷台から墜落した。	30202	1～ 9
2004	1	10 ～ 11	トラックの荷台のシートをはずしている際、足を引っ掛けて転落した。	40301	1～ 9
2004	2	12 ～ 13	トラックへの鉢物台車の積み込み作業においてトラックに装着されたリフトに鉢物台車とともに乗り上昇させたところ、台車上の鉢物が倒れた。これを直そうとリフト上を移動した際にリフトより転落した。	80109	50 ～ 99
2004	10	10 ～	物置として使用している高さ（最高）3.5mの1階スレート葺き建屋の解体作業において、トラック荷台に乗って、屋根スレートを1枚ずつ引き落とそうと	30209	1～ 9

		11	して墜落した。		
2004	11	8 ～ 9	スクリー車（10tトラック）の荷台の上で、建屋に固定されたサイロからパーライト（粉状の鉱物）をスクリー車の荷台へ移送するため、シュート（サイロ下部と荷台上の投入口を連結する袋状のもの）を取り付ける作業を行っていたところ、墜落した。	40301	1～ 9
2004	9	9 ～ 10	店舗解体工事において使用する資材等を調達するため、4トントラックを運転し、構内を走行中、敷地境界に設けられた幅3.6mの非舗装直線道から敷地外左側の高さ3.7m下の雑草地にトラックとともに転落した。	30201	1～ 9
2004	12	15 ～ 16	32 t ダンプトラックのオペレーターとして、切土場所から盛土場所まで、土の運搬を行っていたところ、一定速度のまま路肩マウンドを乗り越え、法面（のりめん）下にダンプトラックとともに転落した。	30106	100 ～ 299
2004	8	16 ～ 17	荷置場において、つり上げ荷重35 t 移動式クレーンで建築用鋼材を貨物自動車に3本を2段で水平に積み込む作業で、上段の鋼材を積み込んでいたところ、下段の鋼材上でつり荷の収まる位置を確認していた被災者が約2.8m下の地面に墜落した。	11209	1～ 9
2004	11	8 ～ 9	10tトラックに積み込まれた機械装置の荷張り作業を行っていたところ、バランスを崩し約4m下のコンクリート地面に墜落した。	40301	30 ～ 49
2004	9	10 ～ 11	4tトラックの荷台に積んであった金属製角パイプ4束をトラックの荷台から降ろすため、束に金属製バールを差し込む作業をしていた時、バールが滑り、バランスを崩して荷台からコンクリート床面に墜落した。	11209	10 ～ 29
2004	6	7 ～ 8	水路の草刈作業を行うため、事業場所有の2tダンプを運転して現場に到着した被災者が、水路脇にダンプを停車していたところ、当該ダンプが傾斜を後退し始め、被災者とともに約1.4m下の水田に転落した。	30107	30 ～ 49
2004	11	10 ～ 11	墜落防止用ネットを4tトラックに積み込むため、同ネットが入った保管ケースをフォークリフトでトラックの荷台上に置き、保管ケースから荷台に移し替える作業中、荷台からアスファルト舗装された地面に転落した。	170209	10 ～ 29

2004	2	17 ～ 18	トラックに積載してあった発電機をクレーンで下ろすための準備をしていたところ、トラックの荷台から高さ約1.25m下の地面に墜落した。	30106	1～ 9
2004	9	8 ～ 9	トラックの荷台から荷（ドラグ・ショベルのベース部分（重量約2.6 t））を荷降ししていたところ、高さ1.34mの荷台から荷とともに墜落し、荷の下敷きになった。	40301	10 ～ 29
2004	6	13 ～ 14	最大積載量3 t の貨物自動車の荷台においてジュースの箱を積む作業を行っていた被災者が、あおりに寄り掛かったところ、あおりの留め金が外れていたことからあおりが倒れ、荷台の上から墜落した。	40301	10 ～ 29
2004	6	5 ～ 6	ダンボール用ロール紙をトラックにて搬送し、荷降ろしのためトラックの荷台上にて荷にかけていたシートをはがしてしていたところ、高さ2.6mの荷台の上より墜落した。	40301	50 ～ 99
2004	9	13 ～ 14	もみ殻を4tトラックに積み込むため、トラックの荷台上で、ホッパーから荷台上に出されたもみ殻を敷き均す作業を行っていた際、荷台上にいた被災者が、積み込んだもみ殻に足を取られ、バランスを崩し、約3.5m下の地面に墜落した。	170209	1～ 9
2004	1	11 ～ 12	自社工場の生コンを生コンミキサー車で納入先の工事現場に配送終了後の帰社途中、林道の左カーブを通り過ぎた直線路にさしかかったところ、林道左側の路肩から35m下の谷に転落し、その際、車外に投げ出され運転していた生コンミキサー車の下敷きとなった。	10901	10 ～ 29
2004	8	9 ～ 10	県道の除草作業現場において、ある地点で草を積み終え、次の積込み地点までトラックを移動させていたところ、トラックの荷台に乗っていた被災者が路上に転落した。	30199	10 ～ 29
2005	10	16 ～ 17	ダンプトラックにて砂を堆積場（砂山）に下ろすために、堆積場のスロープ（勾配10度）を後進で登っている途中、路肩が崩れ、車体前方が左側に傾いて5m下に落下した。このとき、被災者が運転席から投げ出され、横転したダンプトラックの下敷きとなった。	40301	30 ～ 49

2005	6	8 ～ 9	道路舗装工事用で使用したマカダムローラーを回収するため、当該ローラーを運転して重機運搬車に載せた後、当該ローラーから降りようとしたところ、運転席から転落した。	30106	1～ 9
2005	10	17 ～ 18	トラックの荷台上でコンクリート製ブロックをフォークリフトで荷積み作業中、1段目の荷と2段目の荷の間に設置してあった枕木を調整していたときに荷台から転落した。その際、2段目に積んであった荷が被災者の上に落下した。	40301	30 ～ 49
2005	12	9 ～ 10	木材をトラックに積み込む作業中、積み込んだ木材の上で均し作業を行っていたところアスファルトの地面に墜落した。	10401	10 ～ 29
2005	6	14 ～ 15	切羽より原石をトラックで運搬作業中、トラックが作業道路から60m下に転落した。	20201	1～ 9
2005	4	17 ～ 18	飼料運搬用バルク車の上で、フォークリフト積込みのためフレコンパックの位置調整をしていたところ、高さ2.7mのバルク車の上から転落した。	40301	10 ～ 29
2005	6	16 ～ 17	収穫した梅を回収するため、軽トラックにて回収場所へ行く途中、車ごと道路から転落した。	170209	10 ～ 29
2005	1	14 ～ 15	タンク（高さ3.6m）の上部に設置されているハッチを閉めていたところ、誤って足を滑らし、地上に墜落した。	40302	10 ～ 29
2005	9	11 ～ 12	トラックに荷物を積み込む際、トラックのステップに足をかけ、荷台にあった空のパレットの一番上に手をかけて昇ろうとしたところ、手にかけたパレットがずれ、後方に転落した。	40301	1～ 9
2005	10	10	資源物回収車の荷台に乗って移動中、荷台の後部から転落した。	150103	30 ～

		11			49
2005	6	14 ～ 15	トラックの荷台で計量器の積込み作業中、バランスを崩しコンクリート地面に転落した。	50101	1～ 9
2005	8	19 ～ 20	木材をトラックに積み終え、シート掛け中に、荷台から降りようとしたところ、足がシートに絡まり転落した。	40301	10 ～ 29
2005	3	16 ～ 17	建設現場から運搬してきた泥土を、産業廃棄物処理施設内の深さ3.7mの処理槽に廃棄するため、ダンプトラックの運転席において、荷台を上昇させたところ、車両前部が浮き上がり、半回転した車両とともに処理槽内に転落した。	150102	10 ～ 29
2005	10	15 ～ 16	木材市場内にて、落札した木材をトラックに積み込み、ワイヤ掛けの固定の際に、荷台の木材上から地面に転落した。	10409	1～ 9
2005	8	14 ～ 15	駐車場でトラック荷台に乗って、積み荷確認をしていたところ、荷台のあたり部に足を掛けた際に滑って転落した。	80201	1～ 9
2005	12	18 ～ 19	トラック荷台にH鋼を2段積みにし、さらに3段目にH鋼を積もうとし、天井クレーンで持ち上げ荷台上に仮置きし、改めて平積みに変えようとしたところ、H鋼が崩れて被災者とともに荷台下に落下した。	40301	1～ 9
2005	10	9 ～ 10	ごみ収集作業で事業所からのごみを積込み後、収集車の後部につかまり走行中、転落した。	150109	1～ 9
2005	11	14 ～ 15	鋼材をトラックの荷台へ搬入するため、トラックの荷台にて鋼材の積込み作業をしていたところ、荷台から転落した。	11209	1～ 9
		1	トラックに荷の瓦を積み込む作業中、トラックの荷の上から地面へ墜落し		10

2005	4	～ 2	た。	40301	～ 29
2005	10	15 ～ 16	伐採木の積込み作業のためダンプトラックの荷台に上がっていたところ、バランスを崩し、3m下の道路に墜落した。	150102	1～ 9
2005	11	3 ～ 4	トラックに積み込んだ建築用資材をラッシングベルトで荷台に締付け作業中、使用していた荷締め機の持ち手の金具が外れ、その反動で3m下の歩道上に墜落した。	40301	1～ 9
2005	10	13 ～ 14	土木工事現場で使用を終えた型枠材等をダンプトラックに積み込み、資材置場までの搬送中、荷台から落下した一輪車を拾うため、ダンプトラックを後退させていたところ、路肩から脱輪、ダンプトラックとともに2m下の水田に落下した。	30199	1～ 9
2005	10	11 ～ 12	トラックに空ビンの荷積み作業中、荷台から地面に転落した。	40301	1～ 9
2006	2	18 ～ 19	トレーラーに荷積みを終え、荷と荷の間に挟んでいたりん木に足を乗せ荷締め作業を行っていたところ、りん木から足を踏み外し、地面に墜落し被災した。	40301	30 ～ 49
2006	2	19 ～ 20	構内において、トラックの荷台に配電盤を積み込み、あおりを下げた状態で荷台に上がり荷締めを行っていたところ、約1メートルの高さから墜落した。	40301	30 ～ 49
2006	3	10 ～ 11	木造住宅（一部二階建）の解体作業中、2トンダンプの荷台で木材の整理作業をしていたがバランスを崩し約2メートル転落し、反動でダンプの燃料タンクに強打した。	30209	1～ 9
2006	3	8 ～ 9	被災者は、配達先で、コンクリート二次製品の荷卸しのため、トラックを路肩に駐車し、荷台後方に回ったところ、トラックが後退を始め、逸走したトラックとともに2.5m下の草地に転落した。	40301	30 ～ 49

2006	4	15 ～ 16	土砂を積載した3 2トンドンプカーを被災者が運転して、上方にある土砂置き場に運搬中、ダンプカーごと1 6. 3メートル下の道路に転落し、車外に放り出された。	20201	～ 29
2006	3	15 ～ 16	トレーラーに荷物の積込後、荷台のシート掛け及び荷締めを完了後に、荷台上（高さ約3. 8 m）から足を滑らせて地面に転落した。	150102	～ 29
2006	4	9 ～ 10	木造住宅解体工事現場において廃材をダンプトラックに積み込んでいた際、被災者及び同僚が荷台前壁上部の鋼板に上がり、荷台に積み込んだ廃材を整頓しようとして廃材を手前に引っ張ったところ、廃材を掴んでいた手が滑り、その反動で高さ2. 5メートルの荷台前壁上部から墜落した。	30202	1～ 9
2006	4	8 ～ 9	被災者は、タンクローリーによるL S油の配達業務中に、現場に到着し、積みおろしの準備を実施した後、運転席（高さ1 mくらい）のPTOスイッチを作動させようとし墜落した。	10804	～ 29
2006	5	10 ～ 11	納入先の工場において7トントラックから納入品のドラム缶を降ろす作業にあたり、荷台からドラム缶を降ろす前に納入先の荷卸ろし作業者が入荷指示リストと納入品を照合するため、ドラム缶の側面に張られているラベルを確認しようとしたところ、ラベルが荷卸ろし作業者の位置から確認できなかったため、被災者がドラム缶を回転させようとしたところ、バランスを崩し、ドラム缶と共に墜落した。	40301	1～ 9
2006	6	13 ～ 14	被災者は、トラック（1 1 t）の荷台に乗せた馬を降ろす際、馬を繋いでいた紐を解くため、トラック側面のパイプに足をかけ、横張りのワイヤに掴まり解いていた時、掴まっていたワイヤが切れてコンクリート床面に転落した。	40301	30 ～ 49
2006	6	14 ～ 15	4 t ダンプにてダム工事現場から土砂搬出のため県道を南下中、別の4 t ダンプと鉢合わせたため、待避所まで後退しようとしたところ、誤って県道からダンプごと約1 8 m下の川まで転落した。	30101	～ 29
		10	同僚運転手と被災者の2名で一般家庭からのビン・カンごみの回収のため、2トントラックで住宅街を2 0 km/h程度で走行していたところ、後方で		10

2006	6	～ 11	ビン回収袋の落ちる音と被災者の声があったため、トラックを停車させサイドミラーで確認したところ、落ちた回収袋とともに路上にうつ伏せで倒れている被災者を発見した。	150103	～ 29
2006	5	～ 12	取引先で、20トン平ボディトラックに古紙の積み込み作業中、荷台の古紙にシートを掛けていたところ荷台から足を滑らせ高さ約3メートルのところから落下した。	40301	～ 299
2006	8	10 ～ 11	事業場内において、トラック（最大積載荷重7500kg）荷台に取り付けたオープンコンテナにバラ物の古紙を入れ、オープンコンテナ上で均し作業をしていたところ、古紙の上で作業していたため足元が滑り、高さ2.5m下のコンクリート床面に墜落した。	80109	1～ 9
2006	9	～ 11	カーキャリア（キャリア部は2段式で、車5台分積載可能）で車2台を積載し、運搬先に運搬した。2台目の車を降ろすため車のあるカーキャリアの上段部に上り車に乗り込もうとしたとき地面に墜落した。	40309	1～ 9
2006	9	8 ～ 9	出張先構内において、荷物（家畜用飼料、一袋約40kgの布製）をトラックに積込む作業を終え、荷台上で荷物を治具（手鉤）にて整えていたところ、治具が荷物に完全に引っかかっていない状態のまま整えようとしたため、その反動でトラック後部から地面に約2m転落した。	40301	10 ～ 29
2006	10	～ 12	被災者らはイベントの来場者誘導を町から委託され、その準備作業となる道路路側帯へのロードコーン設置作業を行っていた。被災者がトラック荷台上からロードコーンを道路上の作業員に手渡し、指定された区間にロードコーンを設置した。現場責任者から一部がまばらな箇所があると連絡を受け、手直しするために向かう途中で、荷台から墜落した。	170201	～ 299
2006	9	10 ～ 11	倉庫において、米穀集荷作業中、2tトラックのあおりから転落した。	80209	1～ 9
		12	民有林の造材現場で原木（長さ3.2m、直径10～20cm）をログローダーでトレーラー（10t）に積み込む作業を行っていた。被災者は、ト		1～

2007	6	～	13	レーラーに積まれた原木をトビにより、荷台上（高さ1.37m）でならし ていた際、誤って荷台の原木の上から道路上に墜落した。なお、被災者はヘルメットを被っていなかった。	40301	9
2007	5	～	16	15 商品搬送に使用した空ケースを10tトラックに積み込みを行っていた被災者が、トラックの脇に倒れている状態で発見され、入院したが、その後死亡した。	10109	50 ～ 99
2007	5	～	16	15 10tトラックに積んだ住宅資材の荷締め中に積荷の上(GLからの高さ3.5m)から墜落した。	40301	50 ～ 99
2007	4	～	10	9 先山から出た山砂（表土）を20tダンプに17t程度積んで、約300m下の堆積場に降ろすため、坂道（勾配約10度）を下りていたところ、緩いカーブを曲がりきれずに直進し、約20mの崖下に転落した。	20201	1～ 9
2007	5	～	12	11 工場の荷物搬入口の外で搬送してきたコンテナを3tトラックの荷台から降ろす作業をしていた時、転倒して搬入口側に頭を、トラック側に足を向けて倒れていたところを同僚に発見された。入院治療中に死亡した。	10109	30 ～ 49
2007	2	～	9	8 道路工事の仮資材置き場において、道路に散布する固化剤を入れたフレコン（1t）をドラグ・ショベルでつり上げ、2tダンプに積み込む作業を行っていた際、ダンプの荷台にてフレコンのつりロープをドラグ・ショベルのフックから外す作業を行なうために待機していた被災者が、荷台から1.3m下のアスファルト舗装面に墜落した。フレコンやドラグ・ショベルが被災者に接触した形跡はない。	30106	10 ～ 29
2007	11	～	7	6 配達先（8件配達予定の6件目）で、3t車トラックについているゲートリフターを使って、商品を積んだカーゴを降ろそうとした際、ゲートリフターからカーゴと一緒に落下し、その時に地面とカーゴにはさまれた。	80109	30 ～ 49
2007	12	～	11	10 タンクローリー内の灯油・軽油をセンター内の地下貯蔵庫へ下ろす作業を行っていた際、高さ約2.7mのタンクローリーの上部から墜落した。被災者はトレーラーの運転手でもあり、当該作業を単独で行っていた。	80109	1～ 9

2007	12	15 ～ 16	被災者が、4 t ダンプトラックの荷台で荷のアスファルトに保温シートをかける作業中に荷台から転落した。	10804	10 ～ 29
2007	9	7 ～ 8	機械を運搬する際、車両積載形トラッククレーンの荷台に当該機械をおさえるために被災者含めた3名が搭乗した。下り坂にさしかかったところ、突然車両積載形トラッククレーンのブレーキが効かなくなり、運転者が「ブレーキが効かない」と叫んだところ、荷台搭乗者3名が危険を察して飛び降り、2名は軽い軽症で済んだものの1名が翌日に死亡した。	30109	10 ～ 29
2007	8	11 ～ 12	資源ごみの回収作業中、作業車（2 t トラック・平ボディー）の荷台後部に乗り、次の集積場に向かい移動中に、荷台より転落した。ヘルメットは着用していなかった。	150103	50 ～ 99
2007	2	9 ～ 10	製品を保管している倉庫会社の倉庫前において、作業員2人が製品（2パレット）をトラック荷台に固定するためラッシングベルトをかけていた際、1人が荷物の反対側に回り、ベルトを受け取るため待っていたが、暫く待っても届かなかったため様子を見に戻ったところ、荷台下へ横向きになり、倒れていた。入院治療していたが、死亡した。	11409	10 ～ 29
2007	3	14 ～ 15	得意先である森林組合構内で、トラックの荷台に丸太を積み込んだ後、ワイヤー締めを行い、その点検中に荷の上から地面に落下した。	40301	30 ～ 49
2007	4	8 ～ 9	採石場にて散水のため使用していたタンクローリーをドラグ・ショベルにより牽引しながら採石場の仮設道路（勾配15度）を下りていたところ、牽引用に使用したワイヤロープを掛けていたタンクローリー後部の突入防止装置が腐蝕により折れてワイヤロープが外れたためタンクローリーが逸走し、工事用道路を下った先の採石集積場に乗り上げた後、約15m下にタンクローリーが転落し、運転席にいた被災者が死亡した。	20201	10 ～ 29
2007	3	16	護岸工事において、現場内に敷鉄板5枚（1枚約900kg）を運搬してきたダンプトラック（積載荷重4t）の荷台から敷鉄板をドラグ・ショベルを使用（用途外使用）して3人で荷卸し作業中、ダンプトラックの荷台にいた	30107	1～

		17	被災者が墜落した。被災者はヘルメットが外れた状態で横向きに地面に倒れていた。		9
2007	12	16 ～ 17	被災者は、ターミナル敷地内にある積み込みラックにおいて、高さ約3mのトラックのタンクローリー上で灯油18klの積み込み作業中に、タンクローリーから後ろ向きで1回転するように地面に墜落した。	40301	1～ 9
2007	2	16 ～ 17	作業が終了し撤収作業に入り、停車中の運搬用自社トラックの荷台に用具を積み込む作業中に荷台に乗っていた被災者がバランスを失って荷台から後ろ向きに道路に墜落した。	80209	30 ～ 49
2007	9	8 ～ 9	被災者は14tトラックの荷台に乗り、シートを外し、荷台の前方へかたづけしていた。荷台のあおりは左右にそれぞれ前後2枚あり、右側の運転席側のみ倒れている状況であった。被災者が荷台の右側を運転席側に歩いている際に、荷台より地面へ転落した。	40301	1～ 9
2007	6	11 ～ 12	20tトレーラーに荷（古紙）を積み込んだ後、荷締め作業を開始した。荷の最後部の位置に荷締めベルトを掛けていたところ、荷台の煽りから足を踏み外して3.2m下の地上に墜落した。	40301	50 ～ 99
2007	4	16 ～ 17	工事現場で出た土砂を、2tダンプで土捨場まで運搬し、荷下ろし後、再び工事現場へ戻るため、ダンプの切り返しを行っていたところ、作業道沿いの約7m下の斜面にダンプと共に転落し、ダンプの下敷きになった。	30199	1～ 9
2007	12	16 ～ 17	碎石場内において、砂を30tダンプトラックで運搬し、所定の場所に降ろすためUターンしていたところ、Uターン場所の路肩が突然崩壊したため、ダンプトラックが転落した。	20201	10 ～ 29
2008	10	12 ～ 13	自社所有の冷凍冷蔵庫敷地内において、被災者は、大型トラック（ウイング車）の荷台上にのぼり、積載された荷（657箱・1箱約10kg）の確認を行っていたところ、仰向けの状態のまま1.2m下の地面に墜落した。なお、被災者は保護帽を着用していなかった。	40301	30 ～ 49
2008	12	17	ダンプトラックを使用した土砂運搬作業の終了後、荷台の土砂の清掃作業を行った後、ダンプトラックより転落して死亡した。災害発生時にヘルメット	30106	30 ～

		18	は着用していなかった。		49
2008	7	11 ～ 12	採石場内において、石を運搬するため重ダンプを運転して約15度の坂道を登っていた際に、ダンプの駆動軸の連結部品（ユニバーサルジョイント）が破損脱落してダンプが制御不能となり、坂を逆走して調整池にダンプごと転落した。	20201	1～ 9
2008	7	13 ～ 14	事業場構内でクレーン積載形の4tトラックに荷物（プレカット材）を積み込んだ後、同僚1名と共に荷締め作業を行っていた。被災者は、積まれた荷物の上（地上高さ約2.5mの位置）で当該作業をしていたところ墜落して死亡した。	50101	10 ～ 29
2008	5	12 ～ 13	トレーラーで港内岸壁を走行中に構築物に接触してトレーラーヘッドが自走できない状態になった。このためトレーラーヘッドをレッカーで移動するために被災者は、運転席を整理して降りる際、海に転落して死亡した。	40301	10 ～ 29
2008	12	11 ～ 12	し尿収集運搬用のバキュームカー（最大積載量3.65t）のタンク上（高さ1.7m）でホースを取り外す作業を行っていた際に、バキュームカーが前進したため、際にタンク上から墜落した。バキュームカーは運転手が被災者に合図をして、被災者が作業を中断したことを確認後に前進させた。被災者は保護帽を着用していなかった。	150103	10 ～ 29
2008	11	8 ～ 9	塗装を終えた製品（金属製フレーム重さ約200kg）をフォークリフトを用いて4tトラックの荷台に積み込んだ後、荷台上で作業員4名とトラックの運転手1名の計5名で製品を回転させたところ、高さ約1mの荷台の端から被災者が後ろ向きに墜落して死亡した。	11209	10 ～ 29
2008	12	14 ～ 15	小学校内で給食用の食器の入ったコンテナの積み込み作業中、トラックのテールゲートの上で3個目のコンテナを荷台に積み込む時、突然、トラックが前に動き出したため、トラックのテールゲートから墜落して積み込んでいたコンテナが落下してはさまれた。	10109	100 ～ 299
2008	12	14 ～	自社資材置き場での資材撤去作業において、クレーン機能付ドラグ・ショベルでH鋼材2本（500kg/本）を11tダンプトラックの荷台に積み込み、玉外し の時、ダンプトラックを約10度の傾斜地に停車していたため、後方に逸走し	30199	1～

		15	た。この際、つり荷が振れたため被災者が荷台から墜落し、直後に落下してきた鋼材の下敷きとなった。		9
2008	4	9 ～ 10	木材（杉、直径約20cm～60cm、長さ4m～7m）を仮置き場から市場に運搬するため、車両積載形クレーンを備えたトラック（最大積載荷重2750kg）に木材を積む作業をしていた。積荷が終わり、トビグチを使用して木材の整理作業中、荷台サイドのバッテリー（あおり）（地上高さ1.42m）から墜落した。	60201	1～ 9
2008	12	16 ～ 17	倉庫壁面の窓枠の設置箇所の上部分の防錆塗装を行った際、貼り付けられていたマスキングテープをはがす作業を軽四輪貨物車の荷台を足場として行っていたところ、荷台から転落して死亡した。	80209	1～ 9
2008	1	12 ～ 13	ゴミの収集中、作業員2名が収集車の後部の開口部付近に乗り、取っ手につかまって移動していたところ、車が揺れたため2人とも道路上に転落して1名が死亡した。	150103	30 ～ 49
2008	3	14 ～ 15	被災者が最大積載荷重20tのダンプトラックの荷台に約13tの砂利を積んで、長さ約60m、幅員約5.5m、平均斜度約10度の採石工場内の車両通行用道路を降りていた。その際、ダンプトラックが道路路肩を逸脱し、約40度の路肩斜面を一回転半して約3.5m下の地面へ転落し、横倒しとなったダンプトラックの下敷きになった。	20201	10 ～ 29
2008	1	8 ～ 9	トラックの荷台で荷に掛かっているユニット用シートを取り外そうとしたところ、足を踏み外して転落した。	40301	30 ～ 49
2008	10	16 ～ 17	被災者らは、伐倒し土場に集材した伐倒木（杉及び桧）をトラックに積載する作業を行っていた。グラップルでトラックの荷台に積載した伐倒木の整理をトラック運転手と被災者が行っていたところ、荷台の最後部で作業をしていた被災者が地上からの高さ1.6mのトラックのあおりの上から地面に墜落した。	60201	1～ 9
		12	工場の南側法面で刈り取った雑草を軽トラックに積み込むため、被災者は軽		100

2008	12	～	トラックの荷台に乗り、荷台にシートを敷いていたところ、軽トラックの荷	10902	～
		13	台から60cm下のアスファルト面に墜落して死亡した。		299
2008	8	14	木造2階建ての解体工事現場で、解体現場横の路上にトラック（4t積み）を止	30209	1～
		～	めて解体後の廃材を積み込んだ後、ロープ掛けのためにトラックに積んだ廃		9
		15	材の上部（高さ約3.6m）に上がっていた時、バランスを崩してコンクリート		
			路上に墜落した。		
2008	6	7	15tトラックで建築用木材を運搬した運転手が、納入先の事業場の敷地内にお	40301	10
		～	いて、トラックの右横の地面に倒れているのが発見された。保護帽は着用し		～
		8	ておらず、その他、荷台からの墜落を防止する措置も講じられていなかった。		29
2008	1	12	トラック（最大積載量36t）に荷（建築用部材）を積み、シートをかぶせるた	40301	30
		～	め、トラックの荷台（あおり部、高さ1.65m）に上がり作業を行っていたと		～
		13	ころ、アスファルトの路面に墜落して死亡した。なお、被災場所には被災者		49
			から4m離れた場所にヘルメットが転がっていた。		
2009	3	18	被災者は、トラックヤードにおいて、トラックへの壁紙ロール（直径25cm、	40301	30
		～	長さ80cm、重量10kg）の積み込み作業中、トラックの荷台上に積み上げられ		～
		19	た荷（地上からの高さ2.2m）の上に乗る、荷受け作業を行っていたところ、		49
			直前に被災者後方に積み上げられていた荷が崩れ、この勢いで2.2m下のコン		
			クリート床面上に墜落した。		
2009	12	16	事業場内で、水深約8mの沈澱池と呼ばれるため池に堤防を作り、ため池を二	20201	10
		～	つに分ける整備作業を作業員4人で行っていたところ、被災者の運転する25t		～
		17	ダンプトラックが、ため池に整備中の堤防の上に土砂を積み降ろしするため		29
			後進中、車両の右後輪付近から水中に転落した。		
2009	6	10	採石場である事業場内において、コンクリートミキサー車（10t車）を一部改	20201	30
		～	造した散水車で運搬通路（幅11.8m）を走行中、高さ37mの法面を車ごと転		～
		11	落し、被災者が投げ出された。この場所は採石側（切羽側）ではなく谷側の		49
			沢で角度30度ほどある。運搬通路は、角度15度、幅11.8mあり路肩には転落		
			防止用のため高さ0.6～0.7mほど盛土されている。		

2009	5	13 ～ 14	製材工場で木端の積み込み作業中、荷台上の木端を均すために、トラックに備え付けられたタラップを昇っていたところ、何らかの原因でタラップから墜落した。	40301	10 ～ 29
2009	1	9 ～ 10	荷（藁を圧縮梱包した束）を納屋に積み上げる作業において、被災者はトラック（最大積載量1.5t）の荷台（高さ約1.6m）から荷を降ろしていたところ、バランスを崩して地上に墜落した。	80209	1～ 9
2009	6	16 ～ 17	トラックで荷を配達に来た被災者が、荷をトラックから降ろす作業を行っていたところ、トラック荷台の先端部に設けられた荷降ろし用の昇降機から、荷とともに地面に転落し、荷を入れたカゴの下敷きとなった。なお、トラックは最大積載荷重2.4t、荷は瓶入り飲料27箱（1箱50本入り）総重量約400kg、荷を入れたカゴは高さ1.7m、幅84cm、奥行き64cmであった。	40301	10 ～ 29
2009	2	13 ～ 14	被災者は、納品のため、トラックに荷物を乗せて運転し、納品先の工場構内にトラックを停めて荷台から荷を降ろす作業の準備をしている時、トラックの荷台後部から地面に転落した。	40302	1～ 9
2009	4	14 ～ 15	15tトラックの荷台上で積み荷の鉄スクラップの点検作業を行っていた被災者が、トラックの荷台高さ約3mから積み荷の鉄板とともに地上に転落した。	80109	1～ 9
2009	3	14 ～ 15	高速道で行われていた舗装補修工事終了に伴い、車線規制解除のため、車線上に設置されたカラーコーン等の撤去作業を行っていた。被災者は低速で走行する2tトラックのテールゲートリフターに乗って移動していたところ、テールゲートリフターから転落した。	170201	30 ～ 49
2009	10	9 ～ 10	被災場所において、関係請負人の作業者が工事に使用するために立上り管（L字型の鋼管、重さ45kg）2本を2tダンプトラックに積載する作業を行っていた。その際、同所に当日の工事現場の交通誘導を行う警備員として入場した被災者が、当該作業を手伝いトラックの荷台上にて立上り管の端部を持ち上げようとしてバランスを崩しトラックの荷台の上の高さ1.35mのあたりを超え地面に墜落した。	170201	50 ～ 99

2009	6	15 ～ 16	2tダンプによる泥運搬作業中、運転操作を誤り、路肩の土堤を乗り越えてダンプごと約19m転落し、被災者は車外に投げ出された。	20201	10 ～ 29
2009	5	14 ～ 15	クレーンオペレーターと共に10tトラックに鉄骨の積み込み作業を行っていたところ、同トラック上で作業していた被災者は、鉄骨1本（80kg）とともに地面に崩れ落ちて死亡した。	11209	10 ～ 29
2009	7	23 ～ 24	2t納品のためにトラックを運転して物流センターへ到着後、受付事務所にて所定の手続きを済ませて納品場所へ移動するために発進させた。その際、事務所建物に沿って右折すべきところを運転操作を誤ってそのまま直進し、緑石を乗り越え、さらに緩衝帯を突っ切り、柵を破りトラックごと海へ転落した。	10101	100 ～ 299
2009	1	7 ～ 8	被災者は早出で入社し、同日運転する予定であったトラックの荷積み作業を約1時間行っていた。同僚が8時30分ごろ入社したところ、被災者が行方不明であった。被災者を捜していたところ、約2時間後に発見し、様子がおかしかったので、病院に搬送したが後日死亡した。	10402	1～ 9
2009	4	16 ～ 17	住宅特定工事において、既存の住宅の内装解体作業中、被災者が2tトラックの荷台上に配置され、ベランダから解体した襖等の建具を手渡された際、同荷台より墜落し、収容先の病院において死亡が確認された。	30201	10 ～ 29
2009	6	18 ～ 19	場内において、ダンプトラック（最大積載量：32t）に原石を積み込み、場内のプラントへ運搬していたところ、ダンプトラックが走行路（幅員：約10m）から約50m下の走行路へ転落した。被災者は転落中に車外へ投げ出されて死亡した。	20201	10 ～ 29
2009	11	13 ～ 14	被災者と事業主の2人でトラックにチップ材を積み込む作業を行っていたところ、被災者がトラックの荷台上（地上からの高さ357cm）で積み込んだチップ材の上にネットをかける作業中、荷台上から地上に墜落した。ヘルメットを着用しており、ヘルメットに墜落の際に付いたと思われる跡がある。	40301	1～ 9
2009	1	5 ～	工場側道で構内にいた他の作業者が運転席後部路上に倒れている被災者を発	40301	30 ～

		6	見し病院に搬送したが、翌日死亡した。		49
2009	3	13 ～ 14	出先の工場内において、被災者が飼料積込用トラックのデッキ上部（地上高さ3.1m）で飼料の積込み作業中、トラックのデッキ上部から墜落した。なお、被災者は作業時、ヘルメット（飛来防止用）を着用していた。	40301	10 ～ 29
2009	6	14 ～ 15	20tフルトレーラー（前方と後方にトレーラーが付いているタイプ）に飼料を積む作業中、被災者が後方のトレーラーにシートをかける際、約3.1mの高さから地面に墜落した。	40301	100 ～ 299
2010	1	17 ～ 18	4 tトラックの荷台に型枠支保工の材料を高さ約3 m積み、トラック荷台後部から資材がはみ出したのではみ出した部分に赤い布を取り付けるため、暗闇の中、荷の上に乗り取り付け作業中、墜落したもの。	30201	1～ 9
2010	1	12 ～ 13	最大積載量3500kgのトラック荷台に建築資材を積み終え出発のための準備作業をしていた労働者が、トラック荷台（地面からあおり上部までの高さ約1.5 m）から転落した。頭部を強く打ち、搬送先の病院で死亡した。	40301	1～ 9
2010	1	12 ～ 13	配送先の敷地内で4 tトラックの後部扉を開けて1人で荷下ろしの準備を行っていたところ、トラックの荷台から墜落し後頭部を強打した。病院に運ばれ治療中であったが、約1週間後に死亡した。災害発生時ヘルメットは着用していなかった。	40301	1～ 9
2010	1	6 ～ 7	被災者はフォークリフトによりトラックシャーシから荷卸し中、他の労働者がトラックシャーシを別の場所に移動すべくトラクタヘッドにより牽引して前進させた為、プラットホームとトラックシャーシの間の敷鉄板ごと130 cm下の地面に落下し、フォークリフトの下敷きとなり胸部圧迫により死亡した。	40301	10 ～ 29
2010	3	2 ～ 3	アスファルト製造工場の敷地内において、ダンプトラック（10 t車）にアスファルトを積み込む際の前作業として、荷台にアスファルトのこびり付防止のための「軽油捲き作業」を行っていた被災者が、ダンプの助手席側のコンクリート上に倒れているのを別の事業場の労働者が発見した。トラックの荷台から降りる際に足元が滑ったとみられる。	40309	1～ 9

2010	3	8 ～ 9	トラックに積み込んだアルミリサイクル原材料が走行中に落下するのを防止するため、荷台の上に乗る、積み荷の状態を確認していたところ、足を滑らせ墜落した。	150102	10 ～ 29
2010	3	11 ～ 12	工場建物内へのプレス機械等の移設作業を、労働者等4名により工場敷地内で行っていた。貨物自動車（平ボディー車、最大積載量9 t）の荷台に積まれたプレス機械の荷卸し作業を行った後、被災者の姿が見あたらなくなったことから、敷地内を探したところ、隣地工場建物との間にある側溝内（深さ3.07 m）で頭（保護帽を着用せず）から血を流して倒れている状況で発見し、搬送先の病院で死亡が確認されたもの。	30302	1～ 9
2010	4	10 ～ 11	工事で発生した残土を土捨て場まで運搬していたダンプトラック（最大積載量11 t）が、運転を誤り作業道の路肩から約50 m下へ転落した。	30199	10 ～ 29
2010	4	11 ～ 12	被災者は、取引先の有機センターへ鶏糞を搬入するため、鶏糞1次処理（乾燥）場において、4 tの天蓋付きダンプトラックへ鶏糞を積み込む作業を行おうと、当該ダンプトラックの荷台の上に登り、天蓋をスライドさせながら開閉していたところ、何らかの事由により墜落した。現場には天蓋の取っ手が取れて落ちていた。墜落後、同僚が発見し、救急車にて搬送したものの、その後合併症を発症し、約2カ月後に死亡した。	70101	50 ～ 99
2010	5	11 ～ 12	被災者は、鶏ふんを集めに自社の農場の堆肥舎前で、ダンプ（最大積載荷重3.5 t）の荷台に乗る、積んだ鶏ふんをスコップで均す作業中、ダンプのアオリ（高さ2.35 m）からコンクリート舗装面に墜落し頭部を負傷し、6日後に死亡した。墜落防止措置を講じていなかった。	70101	30 ～ 49
2010	6	9 ～ 10	ガソリンスタンドでタンクローリーに積載の油を荷卸しするため、タンクローリー上の底弁をあけ、後方のローリーはしごから降りていたところ、足を滑らせ地面に落ち、頭を強打して死亡した。	40301	30 ～ 49
		14	事業場内碎石場において、被災者は、脱水ケーキをダンプトラックに積載するために、ダンプトラックから脱水ケーキがこぼれ落ちない措置として、40 mmのふるいを通る碎石を別の労働者が運転するバックホウにより、ダン		10

2010	7	～ 15	トラック最後方に約2立方m積載させた。その後、被災者は、ダンプトラックをバックさせ脱水ケーキを積み込む位置まで移動させようとしたところ、ダンプトラックとともに、崖下の池に墜落したものの。	20201	～ 29
2010	7	16 ～ 17	災害復旧工事現場内で土砂を2tダンプトラックで運ぶために下り坂をバックで移動中、運転を誤ってダンプが坂道を逸脱した。この際、被災者は運転席ドアと自生している斜面の木の間で首が挟まった。治療が続けられていたが、8日後に死亡した。	30108	1～ 9
2010	7	11 ～ 12	貨物自動車(2tトラック)の荷台にかぼちゃの入った重さ約500kgのコンテナと労働者3名を載せ、コンテナが荷台よりも若干大きく、あおりを閉めないまま市道を走行していた。T字路交差点を右折する際、固定されていなかったコンテナとともに労働者3名が高さ0.7mの荷台から路上に転落し、1人が頭を強打し、約3時間後に死亡したものの。残り2人も頭部等打撲し、休業した。	60101	10 ～ 29
2010	8	13 ～ 14	貨物自動車で道路を走行中、荷台に乗っていた被災者が荷台から転落したものの。	30101	1～ 9
2010	9	7 ～ 8	トラックの近くに倒れている被災者が発見された。目撃者がなく詳細は不明であるが、被災者は当該木材加工場から出たおが屑をトラックに積載作業中、何らかの原因でトラックの荷台から転落したとみられる。	10409	50 ～ 99
2010	10	21 ～ 22	きのこ栽培に使用したおがくずを貨物自動車に積み込むため、おがくずを入れたホッパー(0.92m×1.23m、高さ1.24m)をフォークリフト(最大積載荷重1.45t)で高さ2.24mの位置に上げ、ホッパーからおがくずを貨物自動車の荷台に落とそうとしてホッパーの下部のストッパーを取り外した際、誤って貨物自動車のおおり(高さ2.14m)からコンクリート床に墜落したものの。	10109	30 ～ 49
2010	10	～ 8	配送先敷地内において、荷降ろし作業後、スクラップ材(発泡スチロール)を積み込み、シート掛けをしている時、トラックのおおり部分(地上175cm)	40301	50 ～

		9	m) から転落し、左頭部（ヘルメットなし）を打ち死亡した。		99
2010	10	7 8	被災者（保護帽の着用なし）は、荷の搬送先において、商品搬入口で2 tトラックの荷台からテールゲートへカーゴを移動して降ろす作業をしていたところ、カーゴと共に落ち搬入口付近でカーゴ（荷と合わせ重量約300 kg）の下敷きとなっているところを発見された。被災者は、頭部骨折により死亡したものの。	40301	100 ～ 299
2010	11	16 17	自社のリサイクル工場において、ダンプトラックを運転して、荷台の残土（泥等）を泥乾燥ピットに降ろす作業を行っていた被災者が、ダンプトラックごと当該ピット（深さ6 m）に転落し、搬送先の病院で死亡したものの。トラック荷台後部のあおりを固定した状態で荷台をダンプしたことにより、泥が落ちずトラックがバランスを崩したとみられる。	150102	50 ～ 99
2010	11	9 10	鉄筋コンクリート造のアパートの解体工事において、解体したコンクリートの廃材を搬出するためドラグショベルでトラック（積載荷重10 t）に積み込む作業中、トラックの運転手である被災者の姿が見えないことを不審に思ったドラグショベルのオペレーターがトラックの近くに行ったところ、トラックの横で倒れている被災者を見つけた。倒れていた場所等から判断してトラック荷台のステップを昇ろうとした際に墜落したとみられる。3日後に死亡した。	30201	10 ～ 29
2010	11	14 15	配送業務を終えて構内駐車場に停車してあった貨物自動車の運転席側のドアが開いており、その下で倒れている被災者が見られた。運転席に乗り降りする際に足を滑らせ、転落したとみられる。	40301	50 ～ 99
2011	11	10 11	被災者は、荷主先工場のバラ出荷第2ゲートでバルク車（飼料運搬用タンクローリー）の荷台上に設置されている作業床（高さ3.28 m、幅0.36 m）に上がり、トウモロコシの飼料をバルク車に積み込んでいたところ墜落し、病院に救急車で搬送されたが25日に死亡したものの。ヘルメットは着用していたが、発見時は脱げていた。また、安全帯は装着していなかった。	40301	30 ～ 49
			被災者を含む3名は、ホタテ漁終了後の計量作業を終え、漁港内に係留してある漁船にかごを戻すため、自社トラック（最大積載量1.45 t）の荷台		

2011	11	15 ～ 16	に被災者と同僚1名を乗せて走行中（時速約10キロ）、被災者が荷台から転落し頭部を強打したものの。病院に搬送されたが11月23日に外傷性くも膜下出血により死亡した。トラックのあおりは全て下ろされており、保護帽は被っていたがあご紐をしていなかった。	70201	50 ～ 99
2011	4	8 ～ 7	大型トラック運転者である被災者は、一般住宅のユニット（鉄骨を箱形に溶接したもので、これを組み合わせて住宅の構造とする）2個を工場に積み込み、輸送。荷下ろしするに当たり、防水シートを取り外すために荷の上に上がったところ、約3.9メートル墜落し、出血性ショックで死亡したものの。保護帽着用。なお被災者は登録簿上の取締役で、労災請求を契機とする調査で労働者性有と判断されたものである。	40301	10 ～ 29
2011	10	17 ～ 18	車両運搬車（カーキャリア）から車両を降ろしている作業中、車両運搬車（カーキャリア）下段の床上で倒れているのを発見された。	40301	10 ～ 29
2011	7	8 ～ 7	卸売市場内で他社のトラックの荷台上の荷物を片付け後、降りる際に足を踏み外して転落し、8月4日に脳挫傷で死亡したものの。	80109	10 ～ 29
2011	3	8 ～ 7	配送センターにて積載荷重3.3トンの箱型トラック（ウイング車）に荷を積み終わったのでフォークリフトの運転者が地上からあおりが閉まるか確認後、あおりを下ろしたとき、荷台上で荷崩れ防止のためベニヤ板で固定をしていた運転手があおりにもたれかかるようにして前向きに地上から高さ1メートルの荷台からアスファルト舗装上に墜落し頭部を打撲した。	40301	1～ 9
2011	10	0 ～ 1	平成23年10月4日午前0時40分ごろ、地方卸売市場南部市場内において、大型トラック（ウイング車、11トン）の荷の積卸作業を行っていたトラックの運転手が、トラック荷台の下で、意識不明の状態で見つかるのを発見された。その後、病院に搬送された被災者は処置を受けるも、平成23年10月15日午前10時27分に脳挫傷により死亡した。なお、災害発生時の現認者はいない。	40301	10 ～ 29

2011	5	13 ～ 14	大学キャンパスでパーティション用パネル（高さ1 m×幅1 m厚さ4 mm）を4 tトラックボックス構造の荷台後方から建屋内へ搬入作業中、トラック内部からパネルをトラックパワーゲート上に搬出した際、風に煽られ、パワーゲートから高さ約1.2 m下の地面に背面から墜落し平成23年5月7日に死亡したもの。（目撃者はいない）	40301	30 ～ 49
2011	10	11 ～ 12	配送作業を終え、トラックの荷台で配送先の荷の準備を行い、荷台から降りようとした際、バランスを崩し墜落したもの。6日後の10月23日に死亡した。	40301	50 ～ 99
2011	10	8 ～ 9	当該事業場前の道路にトラックを止めて、フォークリフト運転手と協力して資材の積み込みを行っていた。被災者は荷台上で待機し、荷の積み込み後に固定作業を行う予定であった。最初の荷を積み込んだフォークリフトが転回し事業場内に戻ろうとしたところ通りがかりの自動車の運転手から「落ちたぞ」と声をかけられ、振り向いたところ、道路上にあおむけに倒れている被災者を発見した。	30201	1～ 9
2011	6	3 ～ 4	事業場北側のホームへ到着した20トン保冷車の運転手が、荷台上の全ての荷を降ろした後に、荷台の扉を開けたまま、事務所へ配送完了の報告に出向いた。この間にホーム上で別の作業を担当していた被災者が、荷台へ入り込んだ。運転手は事務所から戻り、荷台の確認をせず、扉を開けたまま事業場南側の燃料スタンドへ時速約25 kmで移動したところ、荷降ろしたホームから約65 m離れた地点で被災者が荷台から転落した。	50101	300 ～
2011	5	15 ～ 16	建設用の鉄骨（1.5トン）をトレーラーに12本積む作業を2人で行っていた。被災者が荷台で玉はずし、もう1人が4.8トン門型クレーンで9メートル離れたヤードから鉄骨を移動させていた。ヤードで8本目をクレーンで垂直に吊り上げた時、荷台で待機していた被災者が高さ1.25メートルの荷台から地上に墜落し、外傷性頭蓋内出血で死亡した。ヘルメットは着用していた。	170209	10 ～ 29
2011	12	11	荷降ろし先でトラックに積まれた荷を下ろす作業中、トラック上荷台の荷物上（高さ2.6 m）に乗り移動していたところ、足を踏み外しそのまま地上	40301	30 ～

		12	へ墜落したもの。なお、被災者はヘルメットを着用していなかった。		49
2011	12	不明	2 tトラックで自社製品を納品するため取引先工場に早朝5時45分頃到着し、7時20分から始まる荷卸しまでの間に一人で荷解き作業を行っていた被災者が、積荷の固縛ロープを外そうとして誤って荷台から転落し、頭部を強打した。被災者はそのまま作業を継続して荷卸し完了し、9時前には取引先を出発したが、11時半以降連絡が途絶え、20時に取引先から50m程先の路上に停車したトラックの運転席から遺体で発見された。	11209	
2011	6	13 ～ 14	出張先の山林の土場において、同僚がフォークリフトを運転し杉の原木をトラックの荷台に運び、被災者が荷台で均す作業を行っていたところ、原木をトラックの荷台に下ろす際に原木がフォークから転がり落ち、荷台の外に落ちたため、同僚が原木が落ちた箇所を確認したところ、被災者が原木のそばで倒れており、救急車で搬送され脳挫傷および頸髄損傷により意識不明の重体となったが、その後死亡したもの。	40301	1～ 9
2011	12	9 ～ 10	積載型トラッククレーンを使用して、当該クレーンの荷台に据え付けてあったステンレス製還水タンク（高さ2m、奥行1m、幅1m、重量260kg）を、隣に駐車させたトラックの荷台に積み込み、その後、当該トラックの運転席の屋根（高さ1.96m）に上がって作業を行った後、当該クレーンの荷台の方向を向いた形で当該クレーンのあおりに覆いかぶさっているところを発見された。（どのようにして転落したのかは不明。）	30201	10 ～ 29
2011	11	21 ～ 22	3名で翌日配送する鉄筋4束（9トン）を13トン積みトラックに積み込み、被災者は、2人を帰して、荷の積み込み状態の確認作業を行っていた。翌日出勤してきた労働者が、トラック横の地面で仰向けに倒れていた被災者を発見した。	11209	10 ～ 29
2011	7	3 ～ 4	被災者は、配送先のコンビニエンスストアに到着し、納品伝票を店員に手渡し、納入作業を開始するため店外に出た。しばらくたって、商品が納入されないことに気がついた店員は、様子を見るため店舗横の駐車場に向かったところ、トラック前方で吐血し座り込んでいる被災者を発見した。被災者は救急搬送されたものの、後頭部骨折に伴う脳梗塞により20日後に死亡したも	40301	10 ～ 29

			の。		
2011	6	10 ～ 11	カーセンター敷地内において、中古車を配送するため、被災者が、単独で中古車をキャリアカーへ積み込んでいた。その後、中古車を積んだ状態のキャリアカー横の地面に、被災者が仰向けで倒れていたのを、同センターに来店していた客が発見した。	40301	10 ～ 29
2012	9	20 ～ 21	被災者は工場内でトラックの荷台に積み込まれた木材の荷絞め作業を行っていた。荷台上の木材に上り、スリングベルトにより荷絞め器で固定していたところ、約3m下の地面に墜落。頭部を強打し死亡した。なお、被災者はヘルメットをかぶっていたが、あごひもをしていなかった。	40301	10 ～ 29
2012	12	16 ～ 17	解体工事現場において、トラックの荷台に積んだ廃材にロープ掛けをしようと荷台に上がろうとしたところ、車体脇のステップを踏み外して墜落した。	30209	1～ 9
2012	8	7 ～ 8	アスファルトの骨材を10 t ダンプトラックに積み込んで客先に運搬し、荷下ろし待ちしている際、ダンプトラックの荷台から墜落し、頭部をアスファルト道路に強打し、救急搬送先の病院で死亡した。	40301	10 ～ 29
2012	8	6 ～ 7	道路上でアルミ製のトラス状部材（長さ約5m）を積んだトラックを停車させ荷台のシート外し作業中、畳んだシートを積荷上から地面に投げ下ろそうとした際、バランスを崩し、シートと共に約4m下の歩道に墜落した。	40301	1～ 9
2012	8	17 ～ 18	木造2階建家屋の解体現場において、解体した木材を積んだトラック荷台上で、ロープ掛け作業を行っていた被災者は、荷台上から道路面まで約3mの高さを墜落した。	30202	1～ 9
2012	11	9 ～ 10	住宅の解体工事現場にて、つかみ機を使用して廃材をトラックの荷台に積み込み作業中、荷台に載せた廃材上（幅約30 cm）で廃材の位置直しを行っていた際、位置直しを行っていた廃材（縦23 cm×横23 cm×長さ453 cm）とともに約2m下の歩道面に墜落し、脳挫傷により死亡した。	30202	1～ 9
2012	5	8 ～	被災者は碎石場内にて、傾斜地（斜度6度）に駐車してあった貨物自動車の発動機を始動させたところ、約15m惰性走行し、高さ約40mの崖状の絶壁から	20201	1～

		9	転落した。なお、被災者は、転落途中事故機から離れたものの、高さ約15mの段差上の平坦部分に、約25m墜落（滑落）した。		9
2012	11	8 9	事業場から林道新設工事現場に向かうため、ダンプトラックを運転し、既設の林道を通行していたところ、路肩からダンプトラックとともに傾斜約40度の斜面を転落した。なお、ダンプトラックは斜面の立木に引っかかったが、運転者は車外に投げ出されたことでさらに下方に転落し、脳挫傷で死亡し、同乗者は肋骨等を骨折した。	30199	1～ 9
2012	10	5 6	卸売市場において、トラックの荷台で生のスルメイカが入った発泡スチロール製の箱が崩れないよう2名で手で押さえていた。次の場所へ移動するため、トラックをゆっくり走行させたところ、被災者がトラックの荷台から墜落した。	80109	10 ～ 29
2012	1	11 12	木造家屋解体工事において、廃材をニブラを用いてダンプトラックに積み込む作業を行っていたところ、積み込み後、荷掛のため荷台の廃材上で荷均作業中に体勢を崩し、後ろ向きに約3mの高さから地面に墜落した。被災者は、頸髄損傷のため、入院先の病院で死亡した。	30309	1～ 9
2012	6	8 9	被災者は作業場内の表土除去作業のためにダンプトラックを運転し（最大積載量36.5 t に対して約32 t を積載）、表土を作業場内の指定場所へ運搬していたところ、高さ約260mの地点からダンプトラックごと転落した。被災者は、転落中に運転席から投げ出され、高さ約200mの地点で保護帽を着用した状態で発見された。	30109	10 ～ 29
2012	11	7 8	車両積載型小型移動式クレーン（積載荷重3 t）で住宅新築工事現場へ木材を運送し、荷降ろしのためにトラック荷台へ上がり、小型移動式クレーンの玉掛け作業を行った後、荷台から降りようとして転落し、地面で頭部を強打した。	40301	10 ～ 29
2012	7	9 10	道路災害復旧工事において、2 t トラックに積込んだ間知ブロック（コンクリート製、約40kg）をドラグ・ショベルにより降ろす作業中、荷台の上で作業を行っていた被災者が転落し、救急搬送先の病院で死亡した。	30106	1～ 9
			被災者は岸壁通路において、トレーラ（最大積載荷重24.5t）の荷台から荷の		

2012	11	8 ～ 9	ロンジ（船体ブロックの材料）を当該岸壁にあるパレット内に降ろす作業を行うため、300 t ジブクレーンのフック下に吊り付けた吊りビーム（通称天秤と呼ばれる、長い荷を吊る為の吊具）の玉掛け用具（ワイヤロープとチェーンで構成）の掛け位置の変更作業中、乗っていた荷のロンジから持っていた玉掛け用具と共に2.4m下の岸壁通路に墜落した。	11501	30 ～ 49
2012	2	8 ～ 9	トラックの助手席側から車内に置いていた弁当を取る際に、ステップから足を滑らせ転落し、地面に頭を強打した。	30107	10 ～ 29
2012	8	11 ～ 12	被災者は契約事業場のごみ回収を終えた後、会社に帰着した。帰着後、被災者は会社敷地内の資源ごみ置き場に塵芥車を止め、運転席上部のルーフキャリア部に昇り、同所から荷箱（ホッパー）上部のルーフキャリア部に積んである資源ごみを置き場に投下する際、地上に墜落した。	150103	10 ～ 29
2013	6	10 ～ 11	無線操縦ヘリコプターによる農薬散布を4名で実施中、被災者は場所を移動するため、同僚が運転する2 t トラックの荷台に農薬散布用無線操縦ヘリコプターを積載し、荷台上（荷台の長さ3 m程度の後部のあおりを平たんにして、あおりに腰掛けるようにして）に搭乗し、無線操縦ヘリコプターを支えながら農道を移動中、トラックの荷台から転落した。	150109	1～ 9
2013	7	13 ～ 14	所属事業場の駐車場内において、雑草等の廃棄物を指定場所まで運搬するため、廃棄物の積み終わった軽トラックにエンジンをかけたところ、運転操作を誤り前進したまま駐車場の端部から2.8 m下の田んぼに軽トラックごと墜落。墜落時に胸部を強打し、外傷性血気胸にて死亡した。尚、駐車場はほぼ平坦で、墜落した駐車場の端部に車止めやガードレールは設置されていなかった。	30199	10 ～ 29
2013	2	21 ～ 22	被災者は、引越作業で回収したリサイクル家電を2 t バン型トラックで3階まで運ぼうとスロープを上り始めた際、荷台に乗ってラッシングベルトを持ち荷台の冷蔵庫を支えていたところ、トラック後部の扉が開いていたため、冷蔵庫とともに荷台から墜落し、墜落した被災者の右側頭部に冷蔵庫が当たり死亡した。	40301	30 ～ 49

2013	4	10 ～ 11	被災者は、停車している貨物自動車の荷台上で、収集したごみ袋の荷卸し作業を行っていたところ、貨物自動車が発車し、体勢を崩してアスファルトの地面に墜落した。尚、被災者は作業時、安全帯及びヘルメットは使用していなかった。	80209	100 ～ 299
2013	7	9 ～ 10	オートバイ卸売店において、被災者は同僚とオートバイ2段積みトラックの上段からバイクを地上に降ろす作業を行っていた。被災者は、テールゲートリフター上にバイクを載せ、リモコン操作によりテールゲートリフターを下降させていたところ、バイクとともに墜落し、その際バイクが被災者の身体上に落下した。	80109	1～ 9
2013	1	14 ～ 15	事業場敷地内において、被災者ら3名は最大積載量7.2トンの貨物自動車の荷台にフォークリフトを用いてコンクリートブロックを積む作業を行っていた。被災者は荷台の上（地上高さ約1.5m）で、荷台に乗せたブロックの位置を調整する作業をしていたところ、墜落した。	10901	1～ 9
2013	5	2 ～ 3	運転手（被災者）が飼料運搬専用（タンク形状）のトラックを使用し、積込先の構内で飼料の積込作業中、同トラック横に倒れているところを発見された（目撃者なし）。尚、発見時、同トラックのタンク上部に設けられた飼料投入用の扉は開いていたが、飼料はタンクに投入される前の状態であった（同タンク上部の高さは約3m）。また、安全帯の取付設備はあったものの被災者は安全帯、保護帽は未着用であった。	40301	10 ～ 29
2013	5	11 ～ 12	荷主先にてトラックの上に乗し、サイロからチップを積み込む作業をしていたところ、トラックの上から墜落（約4メートル）し、頭部を強打した。	40301	50 ～ 99
2013	3	11 ～ 12	被災者は、所属事業場構内で荷主の製材会社の労働者との共同作業で、トラックに住宅用加工材を積込む作業を行っていた。フォークリフト運転の荷主の労働者が最後の材を積み終え、フォークリフトを所定位置に移動させた際、材が落ちる音がした為、積込場所に戻ると、積荷の一部の木材2束（約160kgと約30kg）が地面に落下、そばに被災者が倒れていた。被災者は、直前に積み荷上でロープ掛けしていたが、災害時の現認者なく詳細は	40301	30 ～ 49

			不明。		
2013	4	14 ～ 15	バルク車内の製品確認のため、バルク車に固定されたハシゴを昇っていた被災者は、コンクリート地面に墜落した。	11709	10 ～ 29
2013	4	16 ～ 17	被災者は、高さ3mのセメントローリー車のタンク上から墜落し、外傷性硬膜化血腫により死亡した。発見時、タンク中央付近にあるマンホールの位置に近いところに倒れていたところから、このマンホール付近で何らかの作業していたのではないかと推測されるが、被災者の一人作業時に発生した災害であるため、作業内容及び発生状況は不明である。	40301	10 ～ 29
2013	9	9 ～ 10	道路の端において、軽トラックのキャビン上で、梯子を使ってバス運行に支障のある木の撤去作業を行っていたところ、約1.6m下のアスファルト道路上に墜落した。	40202	50 ～ 99
2013	11	11 ～ 12	スーパーの駐車場でトラック（3.5t荷台がアルミ製の箱型）から荷卸し作業をしていた被災者は、缶飲料44箱（約616kg）を載せたカートトラック（台車）をトラック後部のゲートに移動させていたところ、カートトラックと共に約1m下のアスファルト地面に転落し、パレットや缶飲料箱の下敷きになった。	40301	50 ～ 99
2014	12	8 ～ 9	被災者がトラックに保護帽を取りに向かった際、運転席から降りたところ、誤って足を踏み外し、地面に頭を強く打ち付けた。	150101	30 ～ 49
2014	11	8 ～ 9	トラック荷台で玉掛け作業中、荷台の反対側で物音が聞こえたため、見に行ったところ、荷台脇の地上で仰向けの状態で倒れている被災者が発見された。	40301	10 ～ 29
2014	11	8 ～ 9	タンクローリーの車内の荷物を取り出し、降りようとしたところ、運転席から車外に仰向けに転落。額を車体に強打し、コンクリート床面に頭部を強打し、死亡した。	40301	10 ～ 29
		9	路上にて、トラック荷台の後部に仰向け状態で倒れている被災者が発見され		10

2014	10	～ 10	た。被災者は、くも膜下出血と、後頭部頭蓋骨陥没により死亡した。	40301	～ 29
2014	10	8 ～ 9	県道走行中、折り畳み式のこぎりで支障木を除去しようとダンプトラックの 運転席の屋根に上ったところ、足を滑らせ、高さ2.9mの運転席の屋根か らアスファルト舗装された路上に墜落した。	40301	10 ～ 29
2014	10	15 ～ 16	トラックのルーフ上にて、解体用つかみ機を運転していた同僚に解体用つか み機で丸太を荷台に載せる位置を合図していた際、荷台に置かれた丸太が転 がり、被災者が転がった丸太を止めようとしたところ、バランスを崩し、丸 太と一緒にルーフ上から1.93メートル下の地上に墜落した。	30209	30 ～ 49
2014	9	15 ～ 16	セメント工場内にて、セメントタンクからタンクローリーのタンクにセメン トを積載する作業中、ローリーのタンク上から墜落した。	40301	10 ～ 29
2014	8	4 ～ 5	トラックからの荷降ろし作業中、トラックに近接した地面上に倒れている被 災者が発見された。	40301	50 ～ 99
2014	8	13 ～ 14	貨物自動車の荷台から転落し、荷台上から落下した梁の下敷きになった。	11209	50 ～ 99
2014	7	15 ～ 16	ダンプの荷台に乗り、ドラグショベルにより積まれた掘削土砂からゴミを取 り除く作業中、ドラグショベルのバケットから退避しようと、ダンプのあお りと付近にあった脚立の上に足をかけたところ、墜落した。	30201	50 ～ 99
2014	7	1 ～ 2	荷物を配送中、荷台で配送する荷物の整理後、後ろ向きで荷台から降りよう とした際、リアバンパーに足をかけたところ、足が滑り、約52cmの高さ から墜落。後頭部をコンクリートの地面に強打し、死亡した。	40301	100 ～ 299
2014	7	11 ～ 12	パワーゲート付きトラックから、貨物の入ったカゴ台車の荷下ろし作業中、 カゴ台車を後ろ向きにパワーゲート側に引き出していたところ、パワーゲー ト端部から転落。カゴ台車が被災者の上に転落し、下敷きとなった。	80209	1～ 9

2014	7	16 ～ 17	カート道路から下（傾斜35度）へ転落した軽トラックの下敷きとなっていた被災者が発見された。	140301	30 ～ 49
2014	6	7 ～ 8	トラックのウィングボディ天井部の補修を行おうとウィングボディの屋根に登り、作業を行っていたところ、地面に墜落した。	40301	10 ～ 29
2014	5	10 ～ 11	ダンプトラックの荷台上で解体物の木屑を整理する作業を行っていた際、荷台の最後尾から前のめりに地面へ墜落した。	30209	1～ 9
2014	5	12 ～ 13	林道の山側法面にて、土砂をダンプトラックで搬出し、沢に向かって土砂を捨てようとしたところ、法肩から車両が転落。運転席キャビンがつぶれ、内部の被災者が下敷きとなった。	30106	50 ～ 99
2014	5	11 ～ 12	廃品回収品をトラックから荷下ろす作業を行っていた際、被災者がトラックの荷台上で作業し、同僚が地上で荷の整理をしていたところ、被災者がトラックの後方で倒れているのが発見された。尚、ヘルメットは未着用であった。	80101	10 ～ 29
2014	4	9 ～ 10	ダンプカー後部のあおりをロックしている楔の1つを取り除かなかったため、荷降ろし位置でダンプアップした際、あおりが開かず、荷が荷台の後部に偏り、ダンプカーが後輪を軸として回転し、ダンプカーがピットに墜落。キャビンがピットの端部に激突し、押し潰され、被災者が運転席内で死亡した。	150102	30 ～ 49
2014	3	11 ～ 12	駐車場にて、軽トラックの荷台に積んでいた冷蔵庫を2名で降ろしていた際、軽トラック荷台上で冷蔵庫の上方を支えていた被災者が、軽トラックの荷台上から仰向けに転落した。尚、被災者は保護帽を着用していなかった。	150103	10 ～ 29
2014	3	21 ～ 22	飼料運搬車の荷台上にて、飼料用スクリーコンベアを分解し、点検作業を行っていた際、バランスを崩し、約3.9m下の地面に墜落した。	11701	10 ～ 29

2014	3	8 ～ 9	住宅新築工事に据付けるユニットバスの部材を2トントラックで搬入した被災者は、荷卸し作業中、高さ1.2メートルの荷台から地面に墜落した（保護帽、安全帯未着用）。	40301	～ 29
2014	2	8 ～ 9	トラックの荷台に積んでいたほぼ六角形に束ねた荷（約520kg）を2つまとめて地面に仮置きしようとして、労働者Aがフォークリフトを操作し、被災者がトラックの荷台に乗ってフォークリフトのつめが荷にかかっているか確認していた。労働者Aがつめを数センチ上げたところ、荷が被災者に向かって動き出し、荷とともに被災者が高さ約1.4m下の地面に墜落した。	40301	～ 29
2014	1	13 ～ 14	貨物自動車にてゴミ収集中、徐行していた貨物自動車の荷台で作業していた被災者は、下りカーブで荷台から道路に転落した。	150103	1～ 9
2014	1	8 ～ 9	配送先工場内の荷下ろし場所にて、自身が運転してきたトラックの後方の地面の上で、鼻から血を流して倒れている被災者が発見された（発見時、トラックの荷台後方に取り付けられたテールゲートリフターは倒した状態であり、そのゲートの床面には荷下ろし予定のドラム缶が置かれていた）。	40301	～ 29
2015	3	0 ～ 1	荷主構内において、バルク車の上でセメントの積込み作業中に墜落し、心肺停止で病院に搬送され、3月27日に死亡した。	40301	30 ～ 49
2015	11	6 ～ 7	配送先事業場の構内において、トラック運転手である被災者が頭部から血を流し、トラック荷台の横で倒れていたもの。災害発生時は、1人で作業を行い、ヘルメットは被っていなかった。トラック荷台に積んだ荷の上で、シートを外す作業を行っていたところ、アスファルト路面に墜落したと推定する。なお、墜落高さは推定3.4m～4mである。	40301	30 ～ 49
2015	5	11 ～ 12	トラックによるごみ収集作業中、次のごみステーションへ移動する際に荷台に乗ったままの被災者から「移動了解」の合図があり、この合図を受けてトラック運転手はトラックを発進させたが、その直後に音がしたため下車して車両後方を確認したところ、頭部から出血して倒れている被災者を発見した。被災者は、救急搬送され加療を行っていたが5月13日に死亡した。	150103	～ 299

2015	8	16 ～ 17	事業場の資材置場にてトラックの荷台に資材を積荷する作業中に転落した。病院へ救急搬送後、死亡が確認された。	30201	10 ～ 29
2015	4	17 ～ 18	会社の駐車場の14t積みトラック荷台脇で、頭から血を流して倒れているところを同僚が発見したものの。	40301	10 ～ 29
2015	9	9 ～ 10	被災者は、積載荷重2.7tのウイング車の荷台から、パレット積みの荷（重量約120kg）を卸すため、高さ約1mの荷台上で、手かぎ棒を使用して、荷台の奥にあったパレット積みの荷を手前に引き寄せようとしたところ、手かぎ棒がパレットから外れ、その勢いで荷台から墜落し、左側頭部を強打したものの。	40301	50 ～ 99
2015	5	0 ～ 1	積載型トラッククレーン（つり上げ荷重2.93トン）を使用してトラックに鋼材（約1.3トン）を積み込むため、トラックの屋根上で作業していたとき、トラッククレーンのアウトリガが浮き上がり、逃げようとして高さ約2.4メートル下の地面に墜落した。病院へ搬送されたが、午後9時頃死亡が確認されたものの。	80209	10 ～ 29
2015	4	0 ～ 1	荷主先にてトラックへ荷を積込作業中に、荷台（高さ1.2m）より地面に墜落し、頭部を強打し死亡した。なお、被災者のヘルメットは発見時に脱げていた。	40301	10 ～ 29
2015	9	8 ～ 9	運送会社の労働者2名が各々運転するタンクローリー2台で出荷作業のため、工場内で尿素水を充填する作業を行っていた。別の労働者がタンクローリー（1台目）に充填を終え、計量測定を行っているときに、被災者がタンクローリー（2台目：最大積載荷重3270kg）の充填を行うため、尿素水タンクに繋がれたホースをタンクローリーに接続しようと荷台へ搭乗したところ、荷台（高さ97センチ）から墜落。（推定）	40301	1～ 9
2015	3	16 ～	事業場構内の土場において、構内で使用している樹皮運搬用のトラックを移動させようとした際に、当該トラック上から地面に転落し、頭部を負傷したものの。被災労働者は災害当日の晩に意識不明となり、2日後に急性硬膜下血	80109	10 ～

		17	腫により死亡した。なお、被災労働者がトラックのどの場所から転落したのかは不明である。		29
2015	9	14 ～ 15	被災者は荷主先でトラック（積載荷重3.55t）に荷積みしてもらった後、テントハウスで一人で荷締め作業を行っていた。トラックの荷（4段に積まれた角材、ビニール包装）を、荷締め機械を用いて荷締め作業を行っていたところ、何らかの原因によりトラック上部から地面（コンクリート）に墜落し頭部を強打した。ヘルメットは着用していた。	40301	10 ～ 29
2015	5	15 ～ 16	被災者は、ダンプの荷台に廃材を積み込む作業において、荷台上で車両系建設機械の誘導を行っていたところ、バランスを崩し約3.3m下の地面に墜落した。	30309	30 ～ 49
2015	10	11 ～ 12	木造建築の建設工事現場において、被災者が4トントラックの高さ2.5メートルのキャビン上に立ち、床材を別のクレーン車で下すために玉掛け作業を行った後、地上に墜落し死亡した。いずれの場所から墜落したかは目撃者もおらず、不明である。被災時、保護帽の着用は不明であり、安全帯の使用はなかった。	40301	1～ 9
2015	8	7 ～ 8	太陽光発電工事に伴う現地調査の現場において、被災者が運転する10tセルフトレーラーにてドラグショベルを搬入し、ドラグショベルを荷台から降ろすため、同僚が荷台脇にある荷台上昇ボタンを操作しているとき、後方から音が聞こえたため振り返ると、被災者が車道に仰向けで倒れていた。被災者は運転席から後ろ向きで降りようとした際に、運転席から転落した。入院加療中だったが、9月23日に死亡した。	80109	10 ～ 29
2015	12	8 ～ 9	荷主先の構内において、トレーラーへのスチールコンテナ（馬鈴薯入り）積み込み作業終了後、出発準備中にトラクターヘッドとトレーラーの接続部付近の地上に倒れていた被災者を同僚（別のトラック運転手）が発見した。なお、被災者のヘルメットは脱落し近くに落ちていた。	40301	10 ～ 29
2015	10	4	配送先の敷地内において、荷の下敷きになっている被災者が発見され、同日死亡した。災害時、被災者は積み荷をトラックから降ろす作業中であっ	40301	30 ～

		5	た。		49
2015	12	10 ～ 11	トラック（最大積載荷重12.8t）の荷台上で長さ4mに玉切りされた材をトビロを用いて整理していたところ、誤って荷台（高さ約2.4m）から墜落したもの。意識不明の状態で見送られたが約8時間後死亡した。なお災害発生時、保護帽は未着用であった。	10401	1～ 9
2015	2	11 ～ 12	敷鉄板（幅1.5m、長さ6m、厚さ2cm、重さ1.6t/枚）13枚の撤去を行うため、移動式クレーンを用いて20t級の重ダンプの荷台上で積込作業を行っていたところ、荷台が起き上がり、荷台上の作業員が飛ばされ、ずり落ちた敷鉄板上に転落した。ドクターヘリで病院へ搬送されたが、約12時間後に死亡した。被災者は保護帽を着用していたが、墜落時には外れていた。	30101	1～ 9
2016	10	14 ～ 15	事業場内にて、10tトラックに廃プラスチックの束（重量約480kg）をフォークリフトを使用し積み込んでいたところ、廃プラスチックの束がトラック荷台頂部に引っかかった。このため、被災者はトラック荷台頂部まで行き束の帯（番線）をニッパーで切断すると、廃プラスチックの束が崩れ、その勢いで被災者がトラック荷台から墜落した。	150102	30 ～ 49
2016	10	9 ～ 10	コンベアピットに溜まっている土砂状の鉄鋼石を、4tトラック（荷台上に3t以下の鉄鋼石が積載）にて天日ヤードに運搬し、当該鉄鋼石を深さ3.35mの深さのピット内に投入するため、輪留めがある箇所にダンプトラックを後進して停車しダンプアップを開始した。荷台上に一定量の鉄鋼石が残り、車両後部に重心が移動した際、車両前方が浮き上がり、後輪を軸として180度後方へ反転し、車両毎ピット内に転落した。	11001	10 ～ 29
2016	9	11 ～ 12	荷卸し先事業場の付近の道路上において、積荷である麦藁の上で、麦藁を覆っていたビニールシートを引き上げて畳む作業中、足を引っ掛けて約4m下のアスファルト路面に墜落、脳挫傷等により療養中であったが、様態が悪化し死亡した。	40301	10 ～ 29
2016	9	10	建設工事現場で土砂搬出のためダンプトラックで下り勾配の林道を走行中、幅員3mの左カーブでタイヤが路肩から外れ、ダンプトラックと共に崖下に	30101	30 ～

		11	転落した。		49
2016	5	9 ～ 10	製品積み込み作業をバルク車上で行っていた際、積み込み作業が完了し、バルク車の槽の中を平らにするため、スコップを取りに、安全帯を外し運転席の方向へ移動したところ、途中にあるパラスクリューコンベアに頭をぶつけ、バランスを崩し、バルク車から転落した。	40301	10 ～ 29
2016	4	15 ～ 16	被災労働者は、停車していた無人の貨物自動車（平ボディ、最大積載量2.45トン）に道板をかけて、ドラグショベル（機体総重量約3.1トン）を運転して積み込んだところ、当該貨物自動車が後退しはじめ、ドラグショベルとともに当該貨物自動車後方にあった法面を転落して、川に沈没し、溺死した。	30106	1～ 9
2016	4	9 ～ 10	被災者はトラック（最大積載量1.5トン）に当日配達予定の弁当が入った段ボールを積み込み後、段ボール箱を計数のために昇降していた際に、トラックの荷台（高さ85cm）又はトラックの後方のステップ（高さ28cm）から墜転落した。	10109	100 ～ 299
2016	4	14 ～ 15	生コンクリートミキサー車の運転者が、生コン工場の洗車場において、生コンクリートミキサー車後部で横向きになって倒れていたところを発見された。病院へ救急搬送され入院していたが、翌日死亡した。	10901	10 ～ 29
2016	4	10 ～ 11	被災労働者が、垣根の剪定作業により切り落とした枝葉の残骸を軽トラックに積み込み、川辺の斜面に廃棄するため、斜面に向かい軽トラックを後進させたところ、軽トラックごと斜面を転落して、川に沈没し、溺死した。	150103	50 ～ 99
2016	3	12 ～ 13	被災者は生コン配送業務に従事する運転手で、午前の配送が終了し、昼食をとるため生コン車にカップラーメンをとりにいったところ、運転席から降りようとして後ろ向きに墜落し頭部を地面に打った。その後、午後の配送を行ったが、頭痛のため病院へ向かう途中の交差点で意識朦朧状態となり嘔吐した。病院へ搬送され入院していたが、脳挫傷のため死亡した。	10901	10 ～ 29
2016	1	16 ～	終業時刻になっても被災者が事務所へ戻らないことを不審に思った同僚が、被災者を探すために作業場に行ったところ、採石場を車輛にて運行するための経路の路肩下に散水車が転倒している状態で発見された。その近くに被災	20201	10 ～

		17	者が車外に放りだされていた。		29
2017	12	12 ～ 13	タンクローリー（積載荷重10トン）を用いて魚油運搬作業に従事していた被災者が、停車していたタンクローリー車内で休憩を行っていたところ、タンクローリーが車体前方方向に動き出した。車は敷地内を出て、敷地に面していた幅9.3メートルの公道を横断し、その端部の岸壁より海中へと転落した。	40301	1～ 9
2017	12	10 ～ 11	事業主が所有するみかん畑内に設けられた作業道路において、被災者はみかん（15kg/箱×19箱）を積んだ軽トラックを運転し、下りこう配の作業道路を走行していたところ、運転操作を誤り、道路下の畑に車とともに転落し、死亡した。	60101	1～ 9
2017	9	6 ～ 7	被災者は大型ダンプトレーラーを運転して荷の集荷作業を行うため、荷主の事業場構内で、ダンプトラックを後進させて所定の位置に停車した直後、被災者は運転席から地面に転落して頸椎骨折により死亡した。	40301	50 ～ 99
2017	8	14 ～ 15	衛生施設組合敷地内の道路において、粗大ゴミ回収の貨物自動車（ダンプトラック、最大積載量1.45トン）の荷台に労働者2名が乗車していたところ、右折する際に、被災者1名が荷台に積んであったテレビボードと共に荷台後方から転落した。	150103	1～ 9
2017	8	14 ～ 15	被災者は堆肥の製造のため、トラックの荷台に堆肥の材料を積み、穴（縦5m横3m深さ4m）に当該材料を搬入する作業を一人で行っていたが、トラックが当該穴に転落し、被災者が運転席で心肺停止の状態で見られ、その後、搬送先の病院で死亡が確認された。	11709	1～ 9
2017	8	14 ～ 15	被災者と運転手の2人で貨物自動車（車体の形状：ダンプ、最大積載量：2トン）を用いて、町内の資源ごみ（古着、ペットボトル、空き缶）を回収。プラント内で計量終了後、車体後方のおりを下げて古着置場で古着を荷卸しした後、ペットボトル置場に移動するため、被災者を貨物自動車の荷台に乗せて、おりを下げたまま時速5km程度で50m程度移動したところで運転手がミラーを確認したところ、被災者が墜落していた。	150103	10 ～ 29

2017	8	4 5	トラックで食料品を輸送し、当該トラックに備え付けられたリフトを用いてスーパーマーケットに荷を搬入するという作業を被災者が単独で行なっていたところ、当該リフトのストッパを使用していなかったために、荷（約200kg）とともにリフトから地面に落下し、そのまま荷の下敷きとなっていた被災者が発見された。	40301	50 ～ 99
2017	7	14 15	被災者は、倉庫内において、家畜の餌となる飼料用パン粉を搬送用ダンプの荷台に積込む作業をする際、高さ3.5m、幅0.3mの荷台枠上で、荷台を覆っていたシートを外す作業をしていたところ、地面に墜落し、頭部を強く打したことによる外傷性くも膜下出血により死亡した。被災者は保護帽を着用していた。	40309	30 ～ 49
2017	7	8 9	解体の作業場から撤去した机や機材等を午前8時より、被災者含む作業員5名で4トントラックに積み込む作業を開始。8時30分ごろ、元請の作業員がトラック後方に仰向けに倒れていた被災者を発見し、救急車にて医療機関へ搬送された。搬送先の医療機関で処置後、被災者自身で自宅近くの医療機関でも受診。その後、帰宅し就寝。翌朝方、容態が急変し死亡した。	30209	30 ～ 49
2017	7	10 11	建設工事現場にミキサー車でモルタルを荷卸し後、ミキサー車後方の高さ2.65mのステップ上で、現場で余ったモルタルをミキサー車に戻す作業を行っていたところ、しばらくして「ドン」という音がし、鉄板上に仰向けの状態で倒れている被災者を発見した。なお、被災者は一人で作業しており、現認者はいない。また、保護帽は着用していたものの、安全帯は着用していなかった。	10901	10 ～ 29
2017	6	14 15	被災者は最大積載荷重20tダンプを運転し、自社採石場内の採石場から同場内の砕石プラントまで採石を運搬していた。午後3時過ぎ、採石場で、同僚が運転するドラグショベルで採石を積み込んだ後、約10m前進したところでダンプ右前輪が作業路路肩から落ち、ダンプごと約21m下の斜面下に転落した。	20201	10 ～ 29
			荷主先にて、被災者と代表取締役の2名により、構内に設置された天井クレーン（定格過重4.8t）を使用して、鉄骨をトラック（最大積載量1		

2017	5	14 ～ 15	9. 8 t) に積載したのち、被災者は荷台の鉄骨の上から地面に降りようとしたところ、姿勢を崩したため約2メートル下の地面に墜落したのち、積荷の鉄骨が落下した。被災者は、保護帽（飛来落下物用）と保護靴を着用。トラックの荷台に墜落防止設備、安全带取付設備はなかった。	40301	1～ 9
2017	5	14 ～ 15	玉切りした木材を単独でフォワーダに積み込む作業中、積み込んだ木材の上又はフォワーダの荷台から墜落した（目撃者がおらず、フォワーダの脇で倒れているところを第三者に発見されたため、推測である）。	40301	1～ 9
2017	5	12 ～ 13	出張作業。主要取引先のイベントが終了し、後片付け後、被災者は貨物自動車の荷台のテールゲート端の支柱に腰掛けるように乗車していた。貨物自動車が左カーブに接した際、アスファルト舗装された外周道路に落下し頭部を打撲した。	80209	1～ 9
2017	4	16 ～ 17	被災者は、水道管の撤去工事現場で、傾斜面（下り勾配）の道路に駐車していたトラックの荷台の後側に立って、同僚労働者1人とともに、工事で使用した器具をトラックの荷台に積み込み中、突然、トラックが後退をはじめ、トラックの左右に退避したが、被災者は巻き込まれてトラックとともに転落し、横転したトラックの下敷きになり、死亡した。	30110	1～ 9
2017	4	8 ～ 9	配送先の敷地内で、商品納入のため、荷下ろし作業を行っていたところ、2トントラックの荷台から墜落し、頭部を負傷（頭蓋骨陥没）し、死亡した。	80109	10 ～ 29
2017	4	10 ～ 11	山林内で伐採された木材の搬出作業において、道路脇に集積された木材をトラッククレーンの荷台へ積み込む作業を行っていた際、荷台に積上げた木材の上に乗っていた被災者が、誤って約3. 2 m下の地面に墜落し頭部を強打した。病院に搬送され治療を受けていたが、死亡した。	60201	50 ～ 99
2017	4	10 ～ 11	被災者は、事業場敷地内の小屋から発生した不要物をトラック（積載荷重3. 65 t）に乗せ、約20 m離れた同敷地内のゴミ堆積場所へ移動し、廃棄する作業中、トラックの荷台上から重量約5 kgの鉄製の板を投げ落とそうとしたところ、荷台のアオリを乗り越え、約1 m下の地面に墜落した。被	140201	30 ～ 49

			災者は保護帽未着用であった。		
2017	3	8 ～ 9	木造建築現場において、一次下請事業場雇用労働者が被災したものである。被災者は、小型トラックの荷台上（地上0.9m）で建設用木材をホイールクレーンのフックに玉掛けしていたが、荷台から地上に墜落し、頸髄損傷により死亡した。災害発生時、被災者は保護帽を着用していなかった。	30202	1～ 9
2017	3	10 ～ 11	ダンプカーの荷台において、ドラグ・ショベルによるフレキシブルコンテナバッグ（土砂入り）の玉掛けの業務に従事していた労働者が、1.5m下の地面に墜落した。当該労働者は、病院に入院し、治療を受けたが死亡した。	30105	10 ～ 29
2017	3	6 ～ 7	工事現場にて排出された土砂の運搬のため現場に入場していたダンプトラックが、荷台に土砂を積んだ後、現場内の作業道から通ずる仮設栈橋を渡って現場外の残土置き場に向かおうとしていたところ、現場内の作業道と仮設栈橋の接合部付近において、作業道端部の単管柵及び仮設栈橋の柵を突き破って約3.4メートル下の沢に墜落した。	40309	1～ 9
2018	12	16 ～ 17	被災者は帰社後、一人でダンプの荷台から木柱を降ろしていた。同僚が敷地内の別の場所で作業していたところ、被災者の声を聞いた。声のした方を見ると、被災者がダンプの横の地面に倒れていた。病院に搬送されたものの、後日死亡した。	30301	10 ～ 29
2018	12	4 ～ 5	パレットに載せた段ボール製品をトラック荷台に積み込み、パレット積みの段ボールが搬送中に相互にぶつかって傷まないように、緩衝用として段ボールをかましていたところ、荷台の端から足を滑らせ墜落した。	40302	10 ～ 29
2018	12	8 ～ 9	搬入した建築資材の荷卸しをするため、被災者及び他の労働者1名が玉掛け作業をするためにトラックの荷台に乗っていたところ、別会社に所属する労働者が運転する移動式クレーンでつり荷を地切りした際に、つり荷が水平方向に横ずれしたため、つり荷が被災者と接触し、荷台から墜落して負傷（頸髄損傷）し、病院で治療を受けていたが、後日死亡した。	40301	30 ～ 49
2018	11	12 ～ 13	2tトラックの荷台上にて、積み込んだ荷へのシート掛け作業を終え、地面に降りようとしたところ、そのまま転落し、頭部を打って死亡した。なお、保護帽は着用していなかった。	150103	1～ 9

2018	11	10 ～ 11	取引先の工場内において、取引先の労働者と被災者の2名で、トラック（最大積載量10トン）に製品（円柱形のロール紙、径80cm、重さ166kg）を積み込み作業中、トラック荷台の荷の上（高さ約2.5m）で作業を行っていた被災者がバランスを崩して、地面に墜落した。災害発生時、被災者は保護帽を着用していなかった。取引先の労働者は、フォークリフトで製品を荷台まで運ぶ作業を行っていた。	40301	50 ～ 99
2018	10	12 ～ 13	取引先の事業場に鉄製の網パレットを引き取りに行った被災者が、取引先事業場の敷地内に停めたトラックの近くで倒れていたところを発見され、収容先の病院で死亡したもの。目撃者はいないが、取引先事業場の敷地内で3tトラックの荷台に網パレットを積み込み、荷崩れ防止のために、ロープを使った網パレットの荷締め作業中に、足を滑らせ荷台から転落し頭部を強打したものと推定される。	80109	10 ～ 29
2018	10	12 ～ 13	被災者は、業務終了後会社駐車場に止めてあった2トンダンプトラックの高さ約80cmの荷台に、トラック後部から登ろうとして、墜落した。その際、頭部をアスファルトの地面に打ち付けたものと思料される。荷台には被災者の保護帽が残されていた。	30199	10 ～ 29
2018	10	18 ～ 19	トラックの荷台に積んだ木材をワイヤーロープとチェーンブロックを用いて荷締めする作業を、地面からの高さが2.1メートルある荷の上で行っていた際に、荷の上から地面に墜落したもの。	40301	10 ～ 29
2018	7	14 ～ 15	被災者は、取引先においてトラックの鳥居部に取り付けられている昇降はしごの真横（真下）で倒れているのを発見されたもの。現認者はいないため、推定ではあるが、荷台のシートが剥がされデッキに収納されていたことから、シートを収納後にトラックから降りようとした時に誤って転落したものと推定される。なお、被災者は保護帽未着用であった。	80109	1～ 9
2018	7	20 ～ 21	事業場を出発し、2日後に荷下ろしをし、サービスエリアで休憩を始めた。車から降りる様子がドライブレコーダーに記録された後、その後運転席に戻ることがなかった。翌日、運転席下の地面に倒れているところを第三者に発見された。	40301	1～ 9

2018	5	16 ～ 17	被災者はトラックを岸壁から約1.5メートル離れたところに停車させ冷凍機能の不具合の点検中に突然姿がなくなった。付近をバイクで通行していた他社の労働者よりサイドミラーに人が海の方に飛ぶような様子が映ったと申し立てがあり捜索したが見つからず通報に至り、その後海から被災者を発見したが死亡が確認されたもの。なお、被災者の姿がなくなった当時、トラックの助手席側の扉が開き、被災者の靴が片方地面に落ちていた。	40301	10 ～ 29
2018	2	0 ～ 1	駐車場において、15tトラック（低床ウイング車）キャビン側のコンクリートの地面に倒れていた被災者が、出勤した別労働者に発見された。発見時に意識・呼吸等なしであった。被災者は、配送業務を終えて事務所にて帰庫の報告を済ませた後、第5駐車場に移動し、トラックキャビンの清掃作業を行っていたところ、トラックキャビンの屋根上から地面に墜落し、頭部打撲して死亡したものと推定される。	40301	100 ～ 299
2018	1	12 ～ 13	トラックの荷台（高さ約1m）から荷卸し作業中に、トラック荷台内にあったラッシングベルトに足を引っ掛け、地面に頭から転落したものと推測される。保護帽は着用していなかった。	40301	10 ～ 29
2018	1	10 ～ 11	林業の伐採現場の伐倒した木材を集積している場所から、約450m下の土場へ被災者が運転する4tトラックで木材を運搬中、土場の約30m上で4tトラックを反転させ、幅員3.5mの林道をバックで土場へ向かっていたところ、約6m下の斜面に4tトラックとともに転落したものの。	60201	1～ 9
2019	12	10 ～ 12	会社の敷地において、被災者が積載荷重30480kgのトレーラーにチップを積み込みシート掛けを行っていたところ、トレーラーの荷台から363cm下の地面に墜落したものと推定される。なお被災者は一人で作業を行っており当該作業を現認した者はいない。	40301	1～ 9
2019	11	8 ～ 10	倉庫にて、1人で飼料運搬車に飼料を積み込む作業を行っていた被災者が同運搬車付近で倒れているところを発見されたもの。フォークリフトで、同運搬車の飼料タンク上まで吊り上げられた飼料用バッグは下部の投下口が開いていて空だった。また、同タンクは満杯で上部の蓋は開いていた。被災者	40301	10 ～ 29

			は、保護帽、安全帯ともに未着用であった。		
2019	11	8 ～ 10	事業場の廃材置き場において、廃材を積み込んだ4トントラックの荷台にシートをかけるよう指示を受けた労働者が、トラック運転席横で倒れている状態で発見された。	150102	1～ 9
2019	11	2 ～ 4	被災者が、配送先にて、駐車場にトラックを停車させ、店内へ荷物を配送するためトラックの荷台から降りようとしたところ、車両ステップを踏み外し、墜落したものである。なお、保護帽は着用していなかった。被災者は災害発生8日後に死亡した。	40301	1～ 9
2019	11	8 ～ 10	前日までに工事が完了し、現場で使用したドラグ・ショベル等を回送車で運搬する作業を被災者一人で行っていた。現場付近を通行しようとした車両の運転手が、荷台がジャッキアップされてドラグショベルを乗せた状態の回送車と道路脇の法面下に倒れている被災者を発見したもの。その後、病院で死亡が確認された。	30107	10 ～ 29
2019	10	8 ～ 10	配送先において、最大積載量28.4tのトレーラーの荷台上で荷に掛けられたシートを畳む等の荷下ろし準備作業を行っていたところ、高さ14.8cmの荷台上から墜落したものの。	40301	10 ～ 29
2019	10	8 ～ 10	被災者は、現場で作業員が使用するために軽トラックの荷台の上に設置された簡易トイレを使用した後、荷台から地面に墜落し、後頭部を強打した。その後、病院に搬送され、手術が行われたが、同日午後に死亡した。被災者は、軽トラックの荷台から降りようとして、何らかの要因により体勢を崩して墜落したと推測される。	30106	1～ 9
2019	10	16 ～ 18	管理しているゴルフ場の敷地内道路脇が土砂崩壊し、その復旧作業を行っていた。坂道の途中にタンク車を停車させ、道路上の土砂を水洗していたところ、タンク車が逸走し、タンク車のホース先端で作業していた被災者がタンク車とともに道路脇の崖下に転落したものの。タンク車を停車させた坂道は約7度の勾配があり、当該タンク車を停車させてから約5分後に災害が発生している。	140301	10 ～ 29
		8			10

2019	9	～ 10	林道の改良工事現場において、土砂を運搬していたダンプトラック（最大積載量2トン）が、林道の路肩から約12m下へ転落した。	30106	～ 29
2019	9	10 ～ 12	被災者は、伐採現場で造材が終了した丸太を7km離れた集積場所まで運搬するため、最大積載量9.3tの車両積載型トラッククレーンに長さ4mの丸太約60本を積載し、幅員3.5mの林道を走行していたところ、コンクリート舗装してある林道の路肩が崩壊（長さ3.5m、幅最大68cm）し、車両とともに崖下に転落した。被災者は、林道から約20m下の崖に蹲っているところを発見され、救急搬送されたが搬送先で死亡した。	60201	10 ～ 29
2019	8	16 ～ 18	被災者（トラック運転手）は、自社倉庫内で荷役作業員ら2名と荷卸し作業を行っていた。荷卸し後、荷台に翌日使用するパレットを積み終え、荷役作業員らがフォークリフトを片付け戻ってくると、被災者が荷台後方の地上で仰向けに倒れていた。荷台の高さは約1m。被災者が直前まで着用していたヘルメットは脱いで助手席に置かれており、荷台にはラッシングベルトが一部付けられた状態であった。災害から約1か月後に死亡した。	40301	1～ 9
2019	7	10 ～ 12	コンクリートミキサー車の生コン投入口（ホッパ）からの墜落。被災者は、ホッパからドラム内に入りドラム内面に付着したコンクリートを研った。被災者は、当該作業を終え、ホッパから出ようとしていて、ホッパから上半身を出した状態であったところ、突然痙攣を起こしてのけ反り、のけ反った姿勢が故に自身の重心位置がホッパ外になってしまい、ホッパから3.08メートル下のスロープに墜落した。	10901	10 ～ 29
2019	7	16 ～ 18	事業場に最大積載量13トンのトラックで鋼製の型枠材を運送する途中、駐車場に停車した際に、あおりを開いて積荷の再荷締または増締を行っていたところ、高さ約1.5メートルの荷台から転落し頭部および全身を強打した。その後、病院に搬送されたが、3日後に死亡した。転落時、被災者は保護帽を着用していなかった。	40301	10 ～ 29
		6	荷配送のため4tトラック（平ボディータイプ）を運転し、配送先付近のコンビニエンスストアに駐車し、買い物をした後に、あおりを下げた荷台の積		10

2019	7	7	～	み荷を確認した際、約1.1m下のアスファルト舗装面に、頭部より墜落したものの。災害発生後、入院治療を受けていたが、2か月半後に死亡したものの。	40301	～	29		
2019	6	14	～	16	自社倉庫敷地内において、トラック（最大積載量7.5トン）に荷（石膏ボード）を積んだ後、シート掛けのために、被災者ともう1名で荷の上ののって作業していたが、荷台前部へ移動中、荷の間隙間（約20センチメートル）に足を取られた結果、バランスを崩して2.67メートル下の地面に墜落し、頭部挫傷により約8時間後に死亡したものの。作業時、被災者とその同僚も保護帽を着用していなかったもの。	40301	10	～	29
2019	6	20	～	22	出張先においてトラック（最大積載荷重2.1トン）の荷台後方から墜落して頭部を強打し、救急搬送され入院したが、16日後に死亡した。なお、保護帽は着用していなかった。	40301	1	～	9
2019	5	12	～	14	荷積先の事業場において、荷積先の作業者が10トントラックの荷台にアルミニウムの切り粉をフォークリフトで積込み、ドラグ・ショベルでならず作業を行っていたところ、トラックの運転者がトラックの荷台上で切り粉に埋もれた状態で発見された。	40301	10	～	29
2019	5	10	～	12	被災者は、建設現場内で使用する重機に給油を行うため、給油車に乗り単独で軽油の配達業務に従事していたが、その際に一般国道から建設現場へ通じる仮設道（幅約3.3m）を後進中に道路脇の斜面下（高さ約1.6m）に車ごと転落したものの。	80204	1	～	9
2019	4	8	～	10	自動車道のインターチェンジから入った高架の車道の直下の約9メートル下の草地に墜落している被災者が発見されたもの。被災者は、取引先に石膏ボードを納入し、残りの石膏ボードを別の取引先に納入する予定であり、インターチェンジの入口近くの路側帯上（被災者が墜落した直上の道路上）に貨物自動車を止めていたもの。	40301	30	～	49
2019	3	12	～		被災者は会社敷地内において、大型トレーラーの荷台に積んだ積荷のタイヤ片の積み方を整えるために、大型トレーラーの荷台に上がりあおりの上に乗って作業を行っていたところ、バランスを崩し頭から地面に墜落した。被	150102	1	～	9

		14	被災者はヘルメットの着用をしていなかった。		
2019	2	8 ～ 10	自社の資材置場にて仮設トイレを、ダンプトラック荷台から降ろすため、トラッククレーン車のクレーンを用いて50cmほど吊り上げたところ、玉掛に使用していた繊維ロープが切れ、トイレがダンプ荷台に落ち、その衝撃によりダンプが揺れ、ダンプトラックのプロテクター上で玉掛を行っていた被災者は、バランスを崩し、運転席前方のアスファルト地面に頭から墜落した。	30106	10 ～ 29
2019	2	0 ～ 2	被災者は、車輛運搬トレーラを運転し、自動車の輸送業務を行っていた。被災者は自動車販売店近くの公道にトレーラを停止し、積んできた車両を全て降ろし、降ろした車両の内1台をトレーラの荷台の二階部分（高さ約3m）に積み込んだ。同僚がトレーラの荷台の横で頭部から血を流して倒れている被災者を発見した。午前11時9分通報。通報から1時間半後に死亡が確認された。	40301	10 ～ 29
2019	2	8 ～ 10	被災者が、自らが保守管理する冷凍冷蔵車のオイル交換等のために自動車整備工場に同車両を持ち込み、自動車整備事業者によりオイル交換等が行われていた際、同車両後部側にうつぶせの状態で倒れている被災者が発見されたものである。同車両の荷台床面の高さは1.43mであるが、発見時はジャッキアップされて、工場床面からの高さは1.93mであった。現認者はいない。	40301	10 ～ 29
2020	12	14 ～ 16	被災者は、荷物が納められたロールボックスパレット（約400kg）をトラックのテールゲートリフトに移動させこれを下ろそうとしていたところ、ロールボックスパレットとともに転落した。高さは1メートル弱であった。	170209	50 ～ 99
2020	12	0 ～ 2	定期便の運行業務において、セミトレーラで高速道路を運行途中、高速道路を降り一般道を約1時間走行後、行き止まりの車両とほぼ同じ幅の道に入り込んだ後、その場所から脱出しようと車両を後退させたところ右後方をガードレールに接触、接触した場所を確認するため車両から降りた後、脇を流れる川に転落。車両停車位置の下流で発見。その場で死亡が確認されたもの。	40301	50 ～ 99

2020	11	12 ～ 14	屋根補修工事において、被災者は、所属事業場から持参した屋根材の折板を、トラックの屋根にのぼり、高所作業車上の作業者に渡す作業をしていた。その際、トラックの屋根から転落し、死亡した。	30309	～ 29
2020	9	10 ～ 12	トラック等駐車場で、各トラックにドライブレコーダーを取り付ける作業を行っていたところ、被災者がトラックの近くで仰向けに倒れていた状態で発見された。災害発生後、治療中であったが、後日死亡したもの。	40301	～ 29
2020	9	16 ～ 18	林道に駐車したトラックの荷台の上で、被災者が伐採が完了した木材を荷締めする作業を行っていたところ、トラックが逸走し始めた。被災者は逸走し始めたトラックの荷台から木材とともに、林道脇の沢に墜落し、出血性ショックで死亡した。	60201	1～ 9
2020	9	14 ～ 16	事業場敷地内の構内道路にて、草刈り作業を担当していた被災者が、作業場所へ向かうため、あおりのない貨物自動車の荷台の左側に座り、移動していたところ、下り坂の方へ右折した際に、体ごと外へ投げ出され転落した。被災者はコンクリートの地面に頭や顔を強く打ち、直ちに市民病院へ救急搬送されたが、死亡した。被災者は当時ヘルメット、上下作業着、長靴を着用。	150102	30 ～ 49
2020	8	10 ～ 12	工場において鉄骨の積み込み作業後、荷台で水分補給をし、少し休憩した後、荷台から下りようとした際、立ちくらみでバランスを崩し、荷台から落ち左肋骨部骨折、頭部を強打した。その後、病院に搬送され治療を受けていたが後日死亡した。	40301	10 ～ 29
2020	8	14 ～ 16	ホテルの敷地内において、プラスチック製コンテナ3個を車両積載型トラッククレーン（つり上げ荷重2.6t）で回収するため、労働者2名で同クレーン周辺にコンテナを移動させ、その後被災者一人で作業していたところ、夕方頃同クレーンの右後方付近で倒れている被災者を発見され、病院へ救急搬送されたが、搬送先の病院で死亡が確認されたものである。	150102	10 ～ 29
2020	8	6 ～ 8	被災者は貨物自動車（粉粒体運搬車）のタンクに牛の飼料を投入するため、高さ283cmのタンク上部に上がり作業を行っていたところ、タンク上部より墜落、コンクリート地面に頭部を激突して死亡したもの。	40301	1～ 9
			ダンプカーの荷台を後方に傾けて土砂を搬出する際、アオリが開かず、当該		

2020	8	12 ～ 14	土砂が荷台後方に偏ったため、ダンプカーが後ろ向きにひっくり返って約5メートル転落したところ、運転席部分が近くに停車していたドラグショベルに激突し、運転手が被災したもの。	150102	30 ～ 49
2020	6	8 ～ 10	被災者はコンクリートを配送するため、コンクリートミキサー車にて建築現場に向かい、待機していたコンクリート圧送車と接続し、現場作業員がコンクリート打設を開始したところ、コンクリートが流れてこなかったため、ミキサー車に向かったところ、被災者があおむけに倒れているのを発見した。大学病院にて頸椎脱臼の治療を行っていたものの、後日肺炎により死亡した。	10901	10 ～ 29
2020	6	10 ～ 12	工場において、被災者がトラック荷台で鉄筋材の荷下ろし作業中に、トラック荷台から墜落して首骨を骨折したもの。災害発生後に緊急搬送され、後日死亡した。	40301	50 ～ 99
2020	3	10 ～ 12	被災者は、駐車場修繕工事で使用するアスファルトを購入するため、工場のアスファルト出荷用ホッパー付近の駐車場に2 t ダンプトラックを駐車させていたが、午前中、被災者は、トラック助手席側後方付近の路面に仰向けで倒れている状態で発見された。	30199	1～ 9
2020	3	8 ～ 10	家庭からの一般廃棄物を持ち込んだ一般女性が運転する軽トラックが、被災者の誘導により、ごみピット投入口までバックしようとした際に逸走し、荷台後方が、ピット投入口の端から1. 2 mの位置に退避していた被災者に接触し、そのはずみで深さ約6 mのごみピット内に墜落した。	150103	1～ 9
2020	3	8 ～ 10	トラックの荷台上において、おが屑の積込み作業を行っていたところ、高さ約3 mの荷台より墜落した。トラックの近くに倒れているところを発見された。	10401	10 ～ 29
2020	2	10 ～ 12	被災者が営業所車庫の駐車場で10 t トラックのキャビンの雪下ろし作業を行っていたところ、作業中に足を滑らせ、高さ約2. 7メートルの位置から墜落し、頭部を打ちつけ死亡したもの。	40301	10 ～ 29
		10	被災者は、工場内石膏サイロにおいて、バルク車（粉粒体運搬車）に荷積み		30

2020	2	～ 12	作業を行うためバルク車のタンク上方（高さ約3メートル）に上がり、タンク投入口とサイロ排出口の連結作業を行っている最中に転落したものと判断される。被災者は病院に運ばれたものの脳挫傷等により死亡した。	40301	～ 49
2020	1	8 ～ 10	工場において、アジテーター車で生コンを建設現場に搬入するために、伝票を取りに行くため、門の手前で停車させ下車したが、その後、アジテーター車後部で倒れていた状況で発見されたもの。災害発生直前の被災者の行動は目撃者がいないため不明であるが、被害の程度からして、アジテーター車後部の荷台及びステップに乗っていて墜落していたものと推定される。	10901	10 ～ 29
2020	1	6 ～ 8	フォークリフトを使用して貨物自動車の荷台からフレコンバッグを卸すため、被災者が荷台上のフレコンバッグの上に乗って、フォークリフトのフォークに、フレコンバッグに取り付けたロープを結びつける作業を行っていたところ、バランスを崩し、2. 2 2 m下の地上に墜落した。	10805	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202207_01.html